

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策 : 01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

施 策 : 01 つながり支え合う、市民主体の地域づくり

所管課長等職・氏名 | 地域づくり推進課長 和川 早苗

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

多様な個性を理解し尊重し支え合い、一人一人が健康で豊かな生活を送り自分らしく輝ける社会の形成を目指します。  
市民の主体性と自主性、自立性を尊重し、地域課題の解決と住み良い地域の実現のため、市民主体の地域づくりを推進します。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標 1 滝沢市に愛着がある人の割合 単 位 %	68.9	70.5 71.3	72 0	73.5 -	75 -	75 -	- 0.0	
	単 位								
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	1320 参画・協働推進事業 男女共同参画サポーター認定者数 単 位 人	目標値 実績	58 49	60 0	62 -	64 -	65 -	66 -	66 -
2	1363 地域自治活動事業 自治会加入率 単 位 %	目標値 実績	83 78.4	83 0	83 -	83 -	83 -	83 -	83 -
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

施 策：01 つながり支え合う、市民主体の地域づくり

所管課長等職・氏名 地域づくり推進課長 和川 早苗

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・地域コミュニティ基本条例に基づく市内11の地域づくり懇談会は、それぞれの地域別計画に基づき活動していますが、参加層の固定化などの課題があります。
- ・市内のコミュニティ施設は地域活動の拠点であり、修繕等に対する支援が必要になります。
- ・滝沢市北部コミュニティセンター、滝沢ふるさと交流館及び滝沢市交流拠点複合施設の公の施設においては、指定管理者とともに交流とにぎわいを創出する事業の展開が大切です。また、滝沢ふるさと交流館及び滝沢市交流拠点複合施設の次期指定管理者の選定に向けた方針を策定していきます。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・市民のライフスタイルが多様化する中、地域活動を支える役員の高齢化や担い手不足が課題となっています。
- ・公の施設、自治公民館等の管理運営に当たっては、猛暑対策のためのエアコン設置や2027年までに蛍光灯の製造が廃止されることに伴うLED化などを計画的に実施する必要があります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・滝沢市男女共同参画計画～たきざわ輝きプラン3～（計画期間：令和5年度～令和13年度）に基づき、多様性を尊重し支え合い、誰もが自分らしく輝ける社会づくりを目指します。
- ・第2次滝沢市総合計画地域別計画（計画期間：令和6年度～令和13年度）に基づき、市内11の地域づくり懇談会が主体的に実施する事業への支援を行います。
- ・市民の交流及び活動の場を提供し、地域のにぎわいづくりと人とのつながりづくりを促進するため、指定管理者及び地域と連携して公の施設等の適正管理を行います。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・滝沢市男女共同参画計画～たきざわ輝きプラン3～及び地域別計画の推進と中間見直しに向けた課題整理
- ・滝沢市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の開始と市民への理解促進
- ・地区コミュニティセンター、自治公民館等の適正な維持管理



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち  
 施 策：02 安全で安心できるまちづくり

所管課長等職・氏名 防災防犯課長 山本 和広

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

災害等有事に備え、消防資機材、消防屯所、消防ポンプ自動車及び消防水利など消防施設の維持・管理を実施するとともに、各種防災訓練の実施、防災資機材の拡充整備を図り、関係機関とのつながりや協力体制の構築を図り、総合防災力の維持・強化を行ってまいります。

また、日頃から地域における防災意識を高め、いざという時に迅速な対応を地域自らが行えるよう、つながりによる連携と協力によって自主防災組織の活動を支援し、地域防災力の強化に努めます。

併せて、市民の安全・安心の推進を図るため、交通事故防止及び飲酒運転の根絶を目指し、交通安全教室、街頭指導、広報啓発活動などを実施するとともに、犯罪のないまちづくりを目指し、関係団体とのつながりや協力体制の構築により連携した効果的な事業を展開するとともに、防犯灯・交通安全施設の維持・管理を進めていきます。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度		
1	災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %	46.4	47 44	47.6 0	48.2 -	48.8 -	48.8 -	- 0.0	
2	子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	67.7	68.3 71.8	68.9 0	69.5 -	70.1 -	70.1 -	- 0.0	
	単位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	705 防犯交通安全対策事務 交通事故発生件数 単位 件	目標値	52	50	48	46	44	42	0
		実績	42	0	-	-	-	-	-
2	850 盛岡地区広域消防組合負担金 火災発生件数 単位 件	目標値	9	9	9	9	9	9	9
		実績	5	0	-	-	-	-	-
3	1058 消防団等活動事業 消防団員数の増加（年度内最多在籍数） 単位 人	目標値	320	325	330	335	340	345	0
		実績	301	0	-	-	-	-	-
4	13710 自主防災組織育成事業 自主防災訓練等の実施件数 単位 件	目標値	32	32	32	32	32	32	32
		実績	19	0	-	-	-	-	-
5	13712 防災行政無線施設維持管理事業 施設の安定稼働率 単位 %	目標値	100	100	100	100	100	100	0
		実績	100	0	-	-	-	-	-

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

施 策：02 安全で安心できるまちづくり

所管課長等職・氏名 防災防犯課長 山本 和広

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

災害等有事に備え、消防資機材、消防ポンプ自動車及び消防水利など消防施設の維持・管理を実施し、「安全で安心できるまちづくり」に向けた各自主防災組織の訓練等が実施されています。自分たちの地域は自分たちで守るという意識が高まっていますが、地域防災意識のより一層の向上を図る必要があります。また、地域特性に応じた災害種別等を十分に周知する必要があります。交通安全対策については、人身事故が増加してきているほか、犯罪認知件数も増加するなど各種防犯交通安全活動のさらなる推進を図る必要があります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

災害が頻発化・多様化しており、災害に対する意識が高まっています。また、全国的に高齢者等の交通事故の割合が増えているほか、詐欺等の犯罪も増加しています。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・災害等有事に備え、消防資機材、消防ポンプ自動車及び消防水利など消防施設の維持・管理を実施するとともに、各種防災訓練の実施、防災資機材の拡充整備を図り、関係機関とのつながりや協力体制の構築を図り、総合防災力の維持・強化を行っていきます。
- ・災害発生時における避難所体制の強化、多様化する災害等において機能する消防防災拠点として滝沢消防署新庁舎建設を進めます。
- ・地域防災意識の高揚のため、つながりによる連携と協力によって各自主防災組織の人材育成を実施していきます。
- ・交通事故や飲酒運転の根絶を目指し、交通安全教室、街頭指導、広報啓発活動を実施するとともに、犯罪のないまちづくりを目指し、関係団体とのつながりや協力体制の構築により連携した効果的な事業展開や防犯灯・交通安全施設の維持・管理を進めていきます。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・災害等有事に備え、消防資機材、消防ポンプ自動車及び消防水利など消防施設の維持・管理を実施します。
- ・災害発生時における避難所体制の強化、多様化する災害等において機能する消防防災拠点として滝沢消防署新庁舎建設を進めます。
- ・各自主防災組織のリーダー的役割を担う「防災リーダー」を育成するため養成講座を実施します。
- ・交通安全対策として、交通安全教室、街頭指導、広報啓発活動を実施するとともに、犯罪のないまちづくりを目指し、関係機関と連携した効果的な事業展開や防犯灯・交通安全施設の維持管理を実施します。

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

施 策：02 安全で安心できるまちづくり

所管課長等職・氏名 防災防犯課長 山本 和広

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和8年度	前年度	比較(%)	令和9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
705	防犯交通安全対策事務	2,054	6,356	△67.7	2,054	2,054	2,054	8,216
718	防犯交通安全施設維持管理事業	45,874	45,964	△0.2	45,370	45,370	45,370	181,984
762	交通安全推進事業	13,697	12,829	6.8	13,697	13,697	13,697	54,788
850	盛岡地区広域消防組合負担金	588,269	570,337	3.1	594,093	599,975	605,915	2,388,252
912	水防活動事業	314	277	13.4	314	314	314	1,256
927	消防施設維持管理事業	11,614	6,659	74.4	6,145	6,145	3,173	27,077
1058	消防団等活動事業	96,250	94,738	1.6	94,682	96,967	94,682	382,581
7777	消防施設整備事業	18,794	0	皆増	27,283	27,283	27,283	100,643
13626	消防団屯所改修事業	1,012	1,974	△48.7	4,062	4,062	4,062	13,198
13710	自主防災組織育成事業	208	145	43.4	150	150	150	658
13711	災害対策事務	20,310	26,494	△23.3	10,000	10,000	10,000	50,310
13712	防災行政無線施設維持管理事業	17,288	21,179	△18.4	18,204	22,846	23,589	81,927



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

施 策：03 自然と共生し、資源を大切に作る生活環境づくり

所管課長等職・氏名 環境課長 藤澤 義美

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

岩手山や鞍掛山を中心とした山々とその麓に広がる森林や春子谷地湿原など豊かで美しい自然環境のもとで、滝沢市環境基本条例の基本理念と第1次滝沢市環境基本計画に従い持続可能な社会を形成するため、市民、市民団体や事業者と共に行動しながら、「自然と共生するまち」、「気候変動に対応するまち」、「資源を大切に作るまち」、「快適な生活環境のまち」、「知り・学び・行動する人を育むまち」という目標とする5つのまちを目指します。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	一人1日当たり家庭系ごみ排出量 単 位 g	481	473	465	457	448	448	-	
	単 位		488	0	-	-	-	0.0	
	単 位								
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	2981 たきざわエコオフィス計画推進事業 二酸化炭素排出量 単 位 t	目標値 実績	5,031 5,007.6	4,875 0	4,724.8 -	4,579.9 -	4,440.3 -	4,305.8 -	0 -
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策 : 01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

施 策 : 03 自然と共生し、資源を大切に作る生活環境づくり

所管課長等職・氏名 環境課長 藤澤 義美

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

第1次滝沢市環境基本計画の5つの環境分野別施策毎に定めた進行管理指標により環境基本計画の進捗状況の分析を行うとともに、実行計画の事務事業目標指標により進捗状況の分析を行い、現状認識を行います。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

国内外の動向として「環境政策全般」、「気候変動対策」、「資源循環対策」や「生物多様性と自然保護」に関する様々な計画や目標、また、岩手県の環境基本計画や地球温暖化対策実行計画などの改正や見直しが行われるため、常に最新情報に注意する必要があります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・家庭ごみ排出量の削減が、結果として二酸化炭素の排出量削減に繋がることを市民に周知し、市民の理解を深めながらごみ削減による二酸化炭素の排出量削減に取り組めます。
- ・市内事業者と連携して二酸化炭素の排出量削減に取り組むとともに、市も行政事務に係る電気使用量の削減に取り組むなど二酸化炭素の排出量削減に取り組めます。
- ・たきざわ環境パートナー会議と連携しながら団体活動の支援を行います。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・一人1日当たりの家庭ごみ排出量の削減を図ります。
- ・地球温暖化対策として、二酸化炭素の排出量削減に取り組めます。

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

施 策：03 自然と共生し、資源を大切に作る生活環境づくり

所管課長等職・氏名 環境課長 藤澤 義美

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和8年度	前年度	比較(%)	令和9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
2198	狂犬病予防事業	1,699	1,685	0.8	1,685	1,685	1,685	6,754
2264	クリーンたきざわ運動推進事業	3,395	3,500	△3.0	3,500	3,500	3,500	13,895
2920	環境基本計画推進事業	1,544	2,807	△45.0	1,544	1,544	1,544	6,176
2967	衛生指導推進事業	1,086	1,060	2.5	1,099	1,099	1,099	4,383
2981	たきざわエコオフィス計画推進事業	0	0	0.0	0	0	0	0
2982	環境放射線監視事業	79	264	△70.1	79	264	79	501
3012	環境保全対策事業	6,534	5,038	29.7	6,534	6,534	6,534	26,136
3133	環境衛生事業	1,301	216	502.3	1,301	1,301	1,301	5,204
8914	滝沢・雫石環境組合負担金	1,066,791	1,024,481	4.1	1,318,498	1,332,193	1,449,449	5,166,931
10144	盛岡地区衛生処理組合負担金	235,794	241,863	△2.5	222,901	224,870	230,870	914,435
13785	ごみ処理等広域化推進事業	19,333	24,691	△21.7	22,280	127,919	125,865	295,397
15106	ごみ減量化推進事業	169	155	9.0	169	169	169	676

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

施 策：04 環境変化に対応し、安心して信頼される窓口づくり

所管課長等職・氏名 市民課長 内村 好章

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【前期基本計画期間における施策の目指すまちの姿】

市民と直接向き合う窓口業務においては、きめ細やかな思いやりをもって丁寧に対応するとともに、デジタル化の進展や制度改正などの外部環境変化に柔軟に適応し、住民情報を安全かつ適切に管理する必要があります。

窓口での多岐にわたるケースに的確に対応できるよう、専門知識を有する職員の育成に注力し、窓口対応スキルの着実な継承と向上を図ります。さらに、オンラインで手続きが完結するサービスの推進を通じて、誰もが安心して利用できる、信頼性の高い窓口サービスの実現を目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度		
1	窓口での説明がわかりやすく対応が良いと感じている人の割合								
	単 位 %以上	72.4	78	79	80	80	80	-	0.0
			74.7	0	-	-	-		
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	7447 東部出張所事務 諸証明件数、事務取扱件数、収納件数								
	単 位 件	目 標 値	22,000	22,000	22,000	22,000	20,000	20,000	0
		実 績	17,037	0	-	-	-	-	-
2	7498 戸籍住民基本台帳管理事務 研修に参加した件数								
	単 位 件	目 標 値	3	3	3	3	3	3	0
		実 績	3	3	-	-	-	-	-
3	10119 火葬場使用料給付事業 給付金支給率								
	単 位 %	目 標 値	100	100	100	100	100	100	0
		実 績	100	0	-	-	-	-	-
4	13662 マイナンバーカード関連事務 対応する証明書のコンビニ交付利用率								
	単 位 %	目 標 値	19	22	29	30	31	32	0
		実 績	0	0	-	-	-	-	-
	単 位	目 標 値							
		実 績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：01 やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

施 策：04 環境変化に対応し、安心して信頼される窓口づくり

所管課長等職・氏名 市民課長 内村 好章

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

所管事務の制度改正等へ適切に対応し、安心かつ信頼される窓口の実現に向け、迅速かつ正確な各種証明書の交付、分かりやすい説明、そしてきめ細やかな対応を推進しております。

引き続き、専門知識の深化、窓口対応スキルの向上、および組織的知識の円滑な継承を通じた人材育成に継続的に取り組んでまいります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

・制度改正や市民のライフスタイルの多様化に伴い、戸籍事務、住民異動、各種証明書交付事務といった窓口業務においては、デジタル技術の活用やキャッシュレス決済の導入など、多岐にわたる対応が強く求められています。

・マイナンバーカードの普及進展に伴い、申請者の年齢や属性に応じたカード交付事務に加え、カード所有者の住所異動や電子証明書更新といった関連事務も一層の複雑化・高度化が進んでおります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・マイナンバーカードの活用などにより、スマートで利便性の高い窓口の推進を図ります。
- ・専門知識を有する職員の育成、窓口対応スキルの向上、および知識の円滑な継承を通じた人材育成に努めます。
- ・法令遵守を基本とし、市民にとって丁寧で分かりやすい窓口サービスの推進を図ります。
- ・法令に基づき、標準準拠システムへの円滑な移行および移行後の安定運用に取り組めます。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・所管する戸籍事務、住民基本台帳、およびマイナンバーカード関連事務における法令改正に適切に対応します。
- ・マイナンバーカードの有効期限到来に伴う更新交付数の増加を見据え、円滑かつ適切な交付体制を確立します。
- ・証明書のコンビニ交付サービスやオンライン申請サービス等の安定的な運用を継続し、より利便性の高い窓口サービスの構築と推進を図ります。
- ・情報共有の促進と専門研修の活用を通じて、専門知識を有する人材の育成を強化します。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：01 健康意識と行動を変える健康づくりの総合企画

所管課長等職・氏名 健康づくり課長 菊池 睦子

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

健康寿命の延伸やQOL（生活の質）の向上は、誰もが望む願いです。その実現のためには、市民の健康意識を高めることが必要であり、健康行動の実践や望ましい生活習慣の定着に向け健康に関する正しい知識の啓発が重要です。市民が健やかに自分らしく暮らせるよう、必要な健康情報を理解し効果的に活用して行動できる力（ヘルスリテラシー）を高めるとともに、健康づくりを支える社会環境の整備を進め、自然に健康になれるまちづくりを目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	自身が心身ともに元気と感じている人の割合 単 位 %	56.3	57 60.3	58 0	59 -	59 -	59 -	- 0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	16358 健康づくり事業 ポイントウォーク事業の参加者数 単 位 人	目標値 実績	400 319	480 0	500 -	500 -	500 -	500 -	500 -
2	19730 健康診査事業 長寿健康診査受診率 単 位 %	目標値 実績	45 45.1	50 0	50 -	50 -	50 -	50 -	0 -
3	19731 がん検診事業 肺がん検診受診率 単 位 %	目標値 実績	36.5 32.7	37 0	37.5 -	38 -	38.5 -	39 -	39.5 -
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：01 健康意識と行動を変える健康づくりの総合企画

所管課長等職・氏名 健康づくり課長 菊池 睦子

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

第3次滝沢市地域保健計画の策定のため、令和4年度に実施した健康づくりに関するアンケート調査の結果では、「運動習慣がある人の割合」は5年前に比較し増加しており、「自分は健康だと思っている人の割合」や「健康な生活を続けるためにこころがけていることがある人の割合」は7割程度を維持しています。一方で、「生きがいややりがいを持っている人の割合」や「悩みを相談できる人がいる割合」などが低下しており、社会全体で心身の健康づくりを支える環境づくりを進めていく必要があります。また、国の「健康日本21（第三次）」が令和6年4月からスタートしており、誰もがより長く元気に暮らしていくための基盤である健康の重要性がますます高まっています。平時から個人の心身の健康を保つための健康づくりの取組を更に強化していくことが求められます。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・平均寿命が延びる一方で、高齢化や生活習慣の変化により、健康上の問題を抱えながら日常生活を送る人が増えることが予想されます。
- ・仕事と育児・介護の両立、定年延長、高齢者の就労拡大などにより、社会の多様化が更に進みます。
- ・高齢化の進展等による要介護認定者や認知症患者は大幅に増加することが見込まれており、疾病や障害を抱えつつ自宅や地域で生活を送る人が今後も増加していくことが考えられ、在宅医療のニーズが増加しています。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・市民の健康づくりの意識を醸成する取組を進めます。
- ・健康行動につながる健（検）診や予防接種を推進するほか、生活習慣病予防の啓発等に努めます。
- ・健康づくりを支える社会環境を整備し、その活用を進めます。
- ・地域医療体制の維持・充実のため、医療機関等との連携を強化します。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・各種健（検）診の通知方法や実施体制を見直し、受診しやすい仕組みづくりと受診率向上に取り組めます。
- ・健康相談及び保健指導を充実させることで、市民の健康に関するセルフケア（自己管理）を促します。
- ・2つの認定コースを活用したクアオルト健康ウォーキングや、健康運動教室等の実施により運動の習慣化を図り健康づくりを推進します。

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：01 健康意識と行動を変える健康づくりの総合企画

所管課長等職・氏名 健康づくり課長 菊池 睦子

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和 8年度	前年度	比較 (%)	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
1785	精神保健事業	571	594	△3.9	666	607	603	2,447
1986	食育推進事業	742	545	36.1	1,447	742	567	3,498
2395	患者輸送車運行事業	75	167	△55.1	0	0	0	75
6278	特定健康診査等事業	58,899	55,647	5.8	58,899	58,899	58,899	235,596
11166	若年者健康診査助成事業	5,149	5,096	1.0	5,149	5,149	5,149	20,596
16358	健康づくり事業	9,114	9,824	△7.2	9,114	9,114	9,114	36,456
19729	救急医療対策事業	8,026	8,476	△5.3	8,026	8,026	8,026	32,104
19730	健康診査事業	58,615	64,480	△9.1	58,615	58,615	58,615	234,460
19731	がん検診事業	101,102	96,514	4.8	101,102	101,102	101,102	404,408
19732	予防接種・感染症対策事業	74,642	51,806	44.1	74,642	74,642	74,642	298,568
19733	保健活動推進事業	1,394	1,319	5.7	1,466	1,394	1,394	5,648
19734	健康教育・相談事業	3,202	3,308	△3.2	1,006	1,006	1,006	6,220



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：02 こどもが安心して暮らせる環境づくり

所管課長等職・氏名 | 子育て課長 藤島 紀子

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

こどもまんなか社会の実現に向けて、社会全体でこどもの育ちと子育てを支え、全てのこどもが健やかに成長することができ、安心して子育てができる社会環境を目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位 %	28.3	33 27.3	36 0	39 -	42 -	42 -	- 0.0	
2	子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）人の割合 単 位 %	73.5	76 83	78 0	80 -	82 -	82 -	- 0.0	
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	1039 子どものための教育・保育給付事業 市内特定教育・保育施設数 単 位 施設	目 標 値	17	17	17	17	17	17	17
		実 績	17	0	-	-	-	-	-
2	1172 子ども・子育て支援推進事業 一時預かり保育実施施設数 単 位 施設	目 標 値	15	15	16	16	16	16	0
		実 績	15	0	-	-	-	-	-
3	4192 放課後児童健全育成事業 放課後児童クラブ登録児童数 単 位 人	目 標 値	965	994	986	980	971	945	0
		実 績	917	0	-	-	-	-	-
4	11698 母子・父子自立支援事業 母子家庭等自立支援教育訓練給付金支給者数 単 位 人	目 標 値	3	3	3	3	3	3	0
		実 績	3	0	-	-	-	-	-
5	16099 保育対策総合支援事業 保育士宿舎借り上げ支援件数 単 位 件	目 標 値	55	25	27	27	27	27	0
		実 績	21	0	-	-	-	-	-

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：02 こどもが安心して暮らせる環境づくり

所管課長等職・氏名 子育て課長 藤島 紀子

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・滝沢市子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼児期の教育・保育の量の確保及び充実を図ります。また、地域子ども・子育て支援事業の推進を進め、子どもと子育て世帯が安心して暮らせる環境づくりを目指します。
- ・児童手当、児童扶養手当を支給し、子育て世帯及びひとり親世帯の経済的負担を軽減します。
- ・DV対応については、関係機関等との相談体制等連携を強化します。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・女性の社会進出や男性の子育てへの参加により、育児休業制度の活用が増えています。幼児教育・保育のニーズは高まる一方、出生数は減少の見込みであることから、多様な保育ニーズやサービスの必要量の把握に努め、必要な施設整備や既存施設の活用を検討、男女を問わず、働きながら子育てに向き合える環境づくりが必要です。
- ・放課後の子どもの居場所については、児童数が減少する中ニーズが高まっていることから、多様な居場所を検討していく必要があります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・多様な子育て支援サービスの質と量の充実
- ・ひとり親の支援と子育てに係る経済的負担の軽減
- ・こどもの居場所づくりと環境改善

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・多様で質の高い育ちの環境の提供に取り組みます。
- ・放課後児童クラブの環境改善と地域資源を活用した放課後の居場所の検討を進めます。
- ・第2子以降の保育料無償化の継続実施など、子育てに係る経済的負担の軽減を図ります。
- ・第3期滝沢市子ども・子育て支援事業計画に基づき、事業を推進します。

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：02 こどもが安心して暮らせる環境づくり

所管課長等職・氏名 子育て課長 藤島 紀子

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和 8年度	前年度	比較 (%)	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
1039	子どものための教育・保育給付事業 滝沢市子ども・子育て支援事業計画	2,868,438	2,765,182	3.7	2,941,723	3,022,166	3,105,017	11,937,344
1068	障がい児保育支援事業	8,018	7,648	4.8	8,018	8,018	8,018	32,072
1172	子ども・子育て支援推進事業	211,127	226,134	△6.6	242,495	249,165	256,640	959,427
4192	放課後児童健全育成事業	356,876	322,937	10.5	356,943	367,538	379,787	1,461,144
11153	児童手当支給事業	1,160,760	1,190,408	△2.5	1,149,150	1,137,658	1,126,284	4,573,852
11690	児童扶養手当支給事業	223,656	214,506	4.3	210,580	209,331	208,082	851,649
11698	母子・父子自立支援事業	10,987	9,892	11.1	9,543	9,543	9,543	39,616
13261	児童福祉施設維持管理事業	8,730	23,187	△62.3	9,492	8,724	8,971	35,917
14623	児童福祉施設整備事業	181,087	220,622	△17.9	90,102	0	0	271,189
16099	保育対策総合支援事業	13,777	15,364	△10.3	15,364	15,364	15,364	59,869
16240	子育てのための施設等利用給付事業（保育）	3,456	4,308	△19.8	3,456	3,456	3,456	13,824
16243	子育てのための施設等利用給付事業（教育）	10,800	11,500	△6.1	9,924	9,048	9,048	38,820



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：03 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化

所管課長等職・氏名 | こども家庭センター長 滝田 律子

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

こどもまんなか社会の実現に向けて、児童福祉及び母子保健に関し包括的な支援を行う組織体制を整備し、妊娠前・妊娠・出産・子育て期を通じた切れ目ない支援体制の構築や、学童期から思春期にかけて生命・人権を尊重する意識を育む事業の展開、子育てに寛容性を持った地域の醸成に取り組み、こどもから大人まで安心して暮らし健やかに成長できるまちづくりを目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	こどもが大切に育てられていると感じている人の割合 単位 %	79	80 80.6	81 0	82 -	83 -	83 -	- 0.0	
2	子育ての悩みや不安を相談できる人がいる（いた）割合 単位 %	73.5	76 83	78 0	80 -	82 -	82 -	- 0.0	
	単位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	598 乳幼児保健事業 1歳6か月児健診受診率 単位 %	目標値	98	98	98	98	98	98	0
		実績	97.8	0	-	-	-	-	-
2	2480 思春期保健事業 思春期保健事業が役に立った生徒の割合 単位 %	目標値	98	99	99	99	99	99	0
		実績	96.6	0	-	-	-	-	-
3	3184 妊産婦健康診査事業 妊婦一般健康診査初回受診率 単位 %	目標値	100	100	100	100	100	100	0
		実績	97.6	0	-	-	-	-	-
4	19737 小児等予防接種事業 BCG接種率 単位 %	目標値	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	0
		実績	98	0	-	-	-	-	-
5	19740 こども家庭センター運営事業 児童家庭相談対応世帯数 単位 世帯	目標値	85	90	95	100	105	110	110
		実績	112	0	-	-	-	-	-

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：03 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化

所管課長等職・氏名 こども家庭センター長 滝田 律子

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対する包括的な支援を行うため、母子保健・児童福祉の両機能が一体的な組織として連携・協働を深めるため令和6年4月滝沢市こども家庭センターを設置し、虐待への予防的な対応から子育てに困難を抱える家庭まで、切れ目のない相談支援を行っています。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

令和4年6月に児童福祉法が改正され、児童福祉及び母子保健に関し包括的な支援を行うこども家庭センターの設置が市町村の努力義務となり、当市においては令和6年4月に設置しています。年々心身の状況や生活環境等においてリスクを抱える妊婦、多様な家庭環境により課題を抱える家庭が増加傾向にあり、妊娠・出産・子育て期における保健・福祉による包括的支援の重要性が更に高まっています。また、児童福祉法における「家庭支援事業」を始めとする地域資源の開拓や母子保健法、子ども子育て支援法にかかる地域全体のニーズの把握及び既存の地域資源の把握、関係機関との連携を深めることなどを通じて、子どもの権利等の普及啓発を行いながら、こども自身が自分らしく生きていける環境を整えることが求められています。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・妊娠期から子育て期までの切れ目ない相談・支援を実施します。
- ・学童期から思春期における生命・人権を尊重する意識を育む取組を継続します。
- ・児童虐待の未然防止のための関係機関との連携強化を図ります。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・安心して妊娠・出産・子育てに臨むことができるよう、産後ケアなどの支援体制の充実を図ります。
- ・言語の理解能力や社会性が高まる5歳ころの幼児に対して、5歳児健康診査を実施し、就学前に親子が安心して育ちの相談ができる体制を整えることで、幼児の健康の保持および増進と就学に向けての切れ目のない支援の充実を図ります。
- ・多様な家庭環境に関する課題に早期に対応し、虐待の未然防止に取り組めます。
- ・子ども子育て支援法における「家庭支援事業」を始めとする地域資源の開拓や、地域全体のニーズ、既存の地域資源の把握等に取り組めます。

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：03 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化

所管課長等職・氏名 | こども家庭センター長 滝田 律子

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和8年度	前年度	比較(%)	令和9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
598	乳幼児保健事業	18,821	21,714	△13.3	18,821	18,821	18,821	75,284
646	妊産婦保健事業	3,530	3,918	△9.9	3,530	3,530	3,530	14,120
2374	育児支援事業	7,885	7,586	3.9	7,885	7,885	7,885	31,540
2480	思春期保健事業	210	210	0.0	210	210	210	840
3184	妊産婦健康診査事業	40,356	43,248	△6.7	40,356	40,356	40,356	161,424
19735	要保護等児童対策事業	0	0	0.0	0	0	0	0
19737	小児等予防接種事業	109,335	126,076	△13.3	109,335	109,335	109,335	437,340
19738	予防接種事業(小児等)	0	0	0.0	0	0	0	0
19739	保健衛生総務事務(こども家庭センター)	0	0	0.0	0	0	0	0
19740	こども家庭センター運営事業 滝沢市子ども・子育て支援事業計画	32,578	26,907	21.1	32,633	32,633	32,633	130,477
19763	母子保健計画等策定事業	0	0	0.0	604	0	0	604
20974	子育て家庭支援事業 滝沢市子ども・子育て支援事業計画	3,105	3,232	△3.9	3,105	3,105	3,105	12,420



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：04 安心して暮らせる社会保険制度の推進

所管課長等職・氏名 保険年金課長 高橋 進

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

病気やけがのとき、安心して医療を受けるための「保険」や、子どもや妊産婦などの一部負担金を助成する「医療費給付」、老後や障がいなどのときに経済的な支えとなる「年金」への理解を促進し、各制度の適正な運営に努めることで、生涯を通じて安心して暮らし、健やかに成長できるまちを目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	自身が心身ともに元気と感じている人の割合 単 位 %	56.3	57 60.3	58 0	59 -	59 -	59 -	- 0.0	
2	老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位	16.2	16.7 19.1	17.2 0	17.7 -	18.2 -	18.2 -	- 0.0	
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	235 重度心身障がい者医療費給付事業 重度心身障がい者医療費給付受給者数 単 位 人	目 標 値	964	975	965	955	945	935	0
		実 績	955	0	-	-	-	-	-
2	290 妊産婦医療費給付事業 妊産婦医療費給付年間受給者数 単 位 人	目 標 値	335	375	367	359	351	343	0
		実 績	277	0	-	-	-	-	-
3	418 子ども医療費給付事業 子ども医療費給付受給者数 単 位 人	目 標 値	8,097	7,882	7,803	7,724	7,646	7,567	0
		実 績	8,114	0	-	-	-	-	-
4	2529 国民年金事務 国民年金制度等の広報 単 位 回	目 標 値	15	15	15	15	15	15	0
		実 績	19	17	-	-	-	-	-
5	8959 ひとり親家庭医療費給付事業 ひとり親家庭医療費給付受給者数 単 位 人	目 標 値	1,037	1,087	1,065	1,043	1,022	1,000	0
		実 績	1,079	0	-	-	-	-	-

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：02 こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

施 策：04 安心して暮らせる社会保険制度の推進

所管課長等職・氏名 保険年金課長 高橋 進

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・国民健康保険では、岩手県国民健康保険運営方針に基づき滝沢市国民健康保険事業計画を策定し、各種事業に取り組みました。被保険者数は減少傾向で、高齢化が進んでいます。
- ・後期高齢者医療の被保険者へは制度加入時にパンフレットや各種チラシを送付し、制度の周知を図りました。被保険者数は年々増加しています。
- ・各種医療費給付事業は、所得制限を撤廃することにより支援の拡充を進めました。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・県は、市町村と一体となり国民健康保険の保険者としての事務を共通認識のもとで実施するとともに、安定的な財政運営及び国民健康保険事業の広域的、効率的な運営の推進を図るため、計画期間を令和6年度から令和11年度までとする、第3期国民健康保険運営方針を令和6年3月に策定しております。
- ・後期高齢者医療保険料の保険料率は2年ごとに見直しがあり、令和8年度に見直しとなります。
- ・県内他市町村では、子どもにかかる医療費の無償化が進んでいます。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・医療制度の適正かつ円滑な運営と実施に努めます。
- ・年金相談の実施により、経済的基盤の確保を支援します。
- ・安心して医療を受けるための医療費給付事業の充実に向け、検討を進めます。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・医療制度の円滑な運営と実施に向けて、市民への周知を図ります。
- ・年金の制度改正等についての継続的な周知や、一人ひとりの実態に即した年金相談を実施します。
- ・子ども医療費給付事業、妊産婦、重度障がい者及びひとり親家庭医療費給付事業において、認定に係る所得制限を撤廃し拡充を図りましたが、さらなる子育て世帯の経済的負担の軽減を進めます。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策 : 03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

施 策 : 01 住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現

所管課長等職・氏名 地域福祉課長 熊谷 明美

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

- ・みんなで支えあい安心して暮らすことができるよう、市民、地域、ボランティア組織、福祉サービス事業者、社会福祉協議会、行政等が連携し、地域での支えあいのネットワークの拡大や見守り活動の充実、多様な相談に対応できる体制の整備を図り、誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてる地域共生社会の実現を目指します。
- ・障がいのある方が地域で安心して暮らすことができるよう、障がいに対する理解の促進、社会参加のための交流の場の構築、学習の機会・就労の場の確保、自立を促進するためのサービスや情報の提供を図ります。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指 標 1 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単 位 %	42.9	43 41.5	43.5 0	44 -	45 -	45 -	- 0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	3652 民生委員・児童委員設置事業 民生委員・児童委員数 単 位 人	目 標 値 実 績	100 97	100 0	100 -	100 -	100 -	100 -	100 -
2	3764 介護給付・訓練等給付費支給事業 介護給付費支給件数 単 位 件	目 標 値 実 績	3,216 2,812	3,416 0	3,033 -	3,209 -	3,395 -	3,591 -	0 -
3	9760 児童福祉法給付事業 児童福祉法給付費支給件数 単 位 件	目 標 値 実 績	1,974 2,072	1,997 0	2,233 -	2,298 -	2,365 -	2,434 -	0 -
4	19756 重層的支援体制整備事業 重層的支援会議 単 位	目 標 値 実 績	2 2	2 0	5 -	5 -	5 -	5 -	0 -
	単 位	目 標 値 実 績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

施 策：01 住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現

所管課長等職・氏名 地域福祉課長 熊谷 明美

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・人と人とのつながりそのものがセーフティネットの基礎となると考え、今後も地域における検討の場や学びの場を作り出し、多様なつながりや参加の機会が確保されることで、地域の中での支えあいや緩やかな見守りが生まれるよう、環境づくりを行う必要があります。
- ・介護、障がい、子ども・子育て等、単一の専門分野の制度利用や支援だけでは解決が困難なケースが増加しており、制度の狭間を埋める他分野連携の仕組みづくりが必要となってきました。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・地域での支え合いや助け合いなどの相互扶助機能の衰退、地域並びに家族間の連帯意識の低下
- ・社会保障費の増加と担い手人口の減少
- ・地域住民の複合・複雑化した支援ニーズ
- ・障害者総合支援法、児童福祉法等の改正によるサービスの充実、拡大
- ・障がい福祉サービス利用者の増加(特にも精神疾患の方の増加)

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事(前期基本計画期間内の取組)

- ・重層的支援体制整備事業の実施により、属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施する包括的支援体制を整備し、重層的なセーフティネットの構築を目指します。
- ・地域住民の気かけ合う関係性を醸成するため、各種啓発や活動しやすい環境づくりを行います。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事(重点課題)

- ・重層的支援体制整備事業のうち多機関協働事業については、様々な視点で一人一人に応じたきめ細やかな支援ができるよう、関係機関との連携を強化し、包括的な支援体制の整備に向けた取組を実施します。

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

施 策：01 住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現

所管課長等職・氏名 地域福祉課長 熊谷 明美

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和8年度	前年度	比較(%)	令和9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
1272	人権擁護事業	543	558	△2.7	543	543	543	2,172
3642	滝沢市社会福祉協議会補助事業	33,945	34,758	△2.3	33,945	33,945	33,945	135,780
3652	民生委員・児童委員設置事業	9,302	9,804	△5.1	9,302	9,499	9,302	37,405
3675	消費者行政推進事業	14,726	17,616	△16.4	14,726	14,726	14,726	58,904
3685	更生保護事業	65	1,162	△94.4	65	65	65	260
3759	障がい者地域生活支援事業	36,964	36,109	2.4	36,964	36,964	36,964	147,856
3764	介護給付・訓練等給付費支給事業	1,232,741	1,073,531	14.8	1,302,657	1,378,081	1,457,872	5,371,351
3766	滝沢市障がい者団体等補助事業	180	180	0.0	180	180	180	720
3775	補装具費支給事業	16,200	15,000	8.0	16,200	16,200	16,200	64,800
3778	自立支援医療費支給事業	57,997	44,018	31.8	60,000	62,000	64,000	243,997
3786	在宅重度障害者家族介護慰労手当支給事業	42	42	0.0	42	42	42	168
3789	在宅酸素療法患者酸素濃縮器使用助成事業	251	206	21.8	251	251	251	1,004

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策 : 03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

施 策 : 01 住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現

所管課長等職・氏名 地域福祉課長 熊谷 明美

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和 8年度	前年度	比較 (%)	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
3828	障害支援区分認定審査会事務	1,618	1,617	0.1	1,618	1,618	1,618	6,472
3836	障がい者支援相談員設置事業	7,044	6,794	3.7	7,044	7,044	7,044	28,176
4659	盛岡地区福祉有償運送市町共同運営協議会運営事業	5	5	0.0	15	15	15	50
5105	滝沢市保護司協議会補助事業	185	185	0.0	185	185	185	740
5469	滝沢市安心生活相談事業	475	475	0.0	475	475	475	1,900
7665	災害時避難行動要支援者支援事務	0	0	0.0	0	0	0	0
7666	自立支援医療費（精神通院医療）支給事務	0	0	0.0	0	0	0	0
7667	特別児童扶養手当支給事務	0	0	0.0	0	0	0	0
7668	障がい者手帳交付事務	0	0	0.0	0	0	0	0
9760	児童福祉法給付事業	256,635	210,046	22.2	276,986	299,395	324,045	1,157,061
10226	難聴児補聴器購入費支給事業	159	168	△5.4	159	159	159	636
12173	社会福祉法人監査指導事業	3,597	3,593	0.1	3,671	3,818	3,597	14,683



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

施 策：02 生活困窮者が安定した暮らしができるようになるための支援の推進

所管課長等職・氏名 生活福祉課長 下佐 貴宏

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

- ・現代は、社会が多様複雑化し、かつ、経済情勢の変動も大きいいため、様々な問題を抱えている生活困窮者がいます。生活保護法及び生活困窮者自立支援法等の公的制度を活用し、生活困窮者が安定して暮らせるようにそれぞれの方が抱えている問題を解決するための支援をします。
- ・生活困窮者が抱えている問題を解決することで自らが望んでいる生活ができるようにすることを目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標 1 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単 位 %	42.9	43 41.5	43.5 0	44 -	45 -	45 -	- 0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	11741 行旅死病人等取扱事業 身元不明又は葬祭を行う者がいない死亡人 単 位 人	目標値	1	1	1	1	1	1	1
		実績	0	0	-	-	-	-	-
2	11793 生活保護事業 生活保護受給世帯数 単 位 世帯	目標値	321	340	347	349	351	354	354
		実績	331	0	-	-	-	-	-
3	11794 中国残留邦人生活支援給付事業 支援給付受給世帯数 単 位 世帯	目標値	1	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1	-	-	-	-	-
4	12677 生活困窮者自立支援事業 新規相談者実人数 単 位 人	目標値	200	200	205	210	215	220	220
		実績	141	0	-	-	-	-	-
5	13018 生活保護総務事務 生活保護受給世帯数 単 位 世帯	目標値	321	340	347	349	351	354	354
		実績	331	0	-	-	-	-	-

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

施 策：02 生活困窮者が安定した暮らしができるようになるための支援の推進

所管課長等職・氏名 生活福祉課長 下佐 貴宏

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

生活困窮者への支援が充実していると市民に感じてもらうことが重要ですが、それぞれの方が抱えている問題は多様複雑化しており、専門的知識や専門機関との調整等が不可欠となるため、職員の人材育成を強化していくことが必要であると考えます。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

物価高騰等の影響から経済情勢悪化の要因があるため、就労収入の減少による生活困窮者が今後増加していくことが想定されます。また、年金等の公的給付が収入の中心となる高齢者が施設入所費用、医療費、介護費等で必要生活費が増加することによる生活困窮者が高齢化率上昇により、今後増加していくことが想定されます。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

生活保護法による生活保護費の支給のほか、就労や健康管理等の生活保護受給者に対する支援を強化します。また、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業による生活困窮者への総合的支援や就労準備支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習・生活支援事業等による専門的支援を合わせて行うことで、それぞれの方が抱えている問題解決ができるようにします。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

生活困窮者が抱えている問題は多様複雑化しており、その問題解決をするための支援は、専門的知識や専門機関との調整力等が不可欠となるため、庁内外の研修等による職員の人材育成をすることが重点課題となります。また、生活困窮者の支援をするには、関係する機関との連携が不可欠であり、円滑なネットワークを構築することも重点課題となります。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

施 策：03 自分らしく暮らせる長寿社会の実現

所管課長等職・氏名 高齢者福祉課長 大槻智康

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

誰もが自分らしく健康で健やかに暮らせるまちを目指すため、安心して暮らせる長寿社会の実現にむけた取組を推進します。そのためには、介護の必要な状態になった時でも安心して住み慣れた地域で暮らせるための介護保険制度の適正な運営が必要です。また、多くの高齢者が「睦大学」や「老人クラブ」「コミュニティ活動」などに参加することで、生きがいのある日々を過ごし、そして支援が必要な時も互いに支え合いながら適切な支援が受けられ、自分らしい暮らしを続けられることを目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標 1 後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位 %	16.2	16.7 19.1	17.2 0	17.7 -	18.2 -	18.2 -	- 0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	731 緊急通報体制整備事業 緊急通報装置設置件数 単 位 人	目標値	60	60	50	50	50	50	50
		実績	40	0	-	-	-	-	-
2	1338 要介護認定調査事業 認定申請に対する調査実施率 単 位 %	目標値	100	100	100	100	100	100	0
		実績	100	0	-	-	-	-	-
3	2630 老人クラブ活動促進補助事業 老人クラブ連合会会員数 単 位 人	目標値	800	800	600	600	600	600	600
		実績	543	0	-	-	-	-	-
4	5020 介護保険給付事業 利用率（サービス利用者数/介護認定者数） 単 位 %	目標値	90	90	90	90	90	90	0
		実績	75	0	-	-	-	-	-
	単 位	目標値							
		実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政策：03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

施策：03 自分らしく暮らせる長寿社会の実現

所管課長等職・氏名 高齢者福祉課長 大槻智康

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・「自分らしく暮らせる長寿社会の実現」のためには、介護保険制度の適正な運営が求められます。また、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とする介護予防・日常生活支援総合事業等を推進していく必要があります。
- ・睦大学など、元気な高齢者の社会参加、生きがいづくりにも対応していますが、今後、更なる高齢化の加速が予想されていることから、地域で高齢者を支える取組みなど、持続可能な介護保険制度とするためにも、さらに推進していく必要があります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第9期）においては、計画期間中に団塊の世代の高齢者のすべてが75歳以上になる令和7年を迎え令和25年頃まで高齢者人口は増加すると見込まれています。計画を踏まえ、中長期的な視点で高齢者が「住み慣れた地域で安心して生活できる環境」の構築に取り組んできたところです。今後、現在の方向性を承継しつつ、さらに高齢化率がピークになるになる2045年も見据えサービス基盤、人的基盤を確保し、地域共生社会の実現に向けた取組みなどを推進し、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた施策の展開を図る必要があります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(第9期)」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて取組みます。
- ・安心して暮らせるための介護保険制度の適正な運営を進めます。特に介護保険制度改革に係る適切な対応や地域支援事業等を推進します。
- ・セーフティネットである各種高齢者福祉対策や、いきいきと暮らすための高齢者の社会参加等の支援を継続します。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・介護保険制度の適正な運営とともに、介護認定事務の改善に努めます。
- ・「睦大学」や「老人クラブ」等、生きがいのある日々を過ごすための活動の場の提供や主体的取組の支援を行います。
- ・次期、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第10期）の計画の策定を行います。

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

施 策：03 自分らしく暮らせる長寿社会の実現

所管課長等職・氏名 高齢者福祉課長 大槻智康

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和8年度	前年度	比較(%)	令和9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
397	市民福祉センター管理運営事業	20,571	20,640	△0.3	20,578	20,584	20,632	82,365
450	老人保護措置委託事業	47,751	37,613	27.0	42,307	42,307	42,307	174,672
731	緊急通報体制整備事業	1,105	1,174	△5.9	1,105	1,105	1,105	4,420
1338	要介護認定調査事業	41,439	40,000	3.6	40,696	40,696	40,696	163,527
1621	介護保険サービス利用者負担助成事業	83	80	3.8	83	83	83	332
1641	老人福祉事務	30	30	0.0	0	0	0	30
2630	老人クラブ活動促進補助事業	1,186	1,211	△2.1	1,186	1,186	1,186	4,744
2942	長寿祝い事業	1,221	975	25.2	1,284	1,284	1,319	5,108
2951	高齢者日常生活用具給付事業	30	30	0.0	30	30	30	120
5020	介護保険給付事業	4,388,868	4,257,391	3.1	4,524,408	4,664,134	4,832,042	18,409,452
5513	高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進補助事業	3,600	3,600	0.0	3,600	3,600	3,600	14,400
12461	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定事業	327	218	50.0	218	218	327	1,090



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策 : 03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち  
 施 策 : 04 高齢者が地域で暮らし続けられるための支援の推進

所管課長等職・氏名 地域包括支援センター長 佐藤 美智子

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

高齢者が健やかで笑顔にあふれ、自分らしく役割や生きがいを持ちながら、住み慣れた地域で暮らし続けられるまちを目指します。そのために、高齢者の包括的な相談支援や主体的な活動支援、介護予防・フレイル（虚弱）予防の取組を推進します。また、支援が必要な状態となってもその人らしい尊厳ある生活を継続していけるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援の各分野が互いに連携しながら、自立を支援する体制を推進します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標 1 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単 位 %	16.2	16.7 19.1	17.2 0	17.7 -	18.2 -	18.2 -	- 0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	12890 認知症総合支援事業 認知症サポーター養成講座開催回数（直営型＋委託型） 単 位 回	目 標 値 実 績	20 18	20 0	22 -	22 -	24 -	24 -	0 -
2	14546 地域ケア会議推進事業 地域ケア会議開催回数（直営型＋委託型＋推進会議） 単 位 回	目 標 値 実 績	16 19	16 0	16 -	16 -	16 -	16 -	0 -
3	20978 重層的支援体制整備事業（総合相談支援・権利擁護事業） 包括支援センター相談件数（市内の地域包括＋ブランチ） 単 位 件	目 標 値 実 績	4,700 3,880	4,750 0	4,800 -	4,850 -	4,900 -	4,900 -	0 -
	単 位	目 標 値 実 績							
	単 位	目 標 値 実 績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

施 策：04 高齢者が地域で暮らし続けられるための支援の推進

所管課長等職・氏名 地域包括支援センター長 佐藤 美智子

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・老後が不安なく暮らせると感じている人の割合は、R2調査の29.3%からR6調査19.1%と、10.2ポイント減少しています。
- ・2025年には団塊の世代が75歳以上となり、地域包括ケアシステムの深化が求められております。社会環境の変化や高齢者の増加を踏まえ、地域包括ケアシステムを支えるために必要な介護予防の推進や生活支援の体制整備に向けて、共助、公助のほかに、自助、互助の助け合いができる仕組みづくりの更なる推進が必要と考えます。また、増加する相談や要支援者等の介護予防サービス調整等に適切に対応するため、地域包括支援センターの機能強化を図るための体制整備を引き続き行う必要があります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

全国的に総人口が減少する中で、団塊の世代が75歳に到達する2025年（令和7年）には後期高齢者数が急激に増加、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年（令和22年）には高齢者人口がピークを迎え、その後も高齢化率は上昇を続けると予測されています。更に、2065年（令和47年）には、国民の2.6人に一人が65歳以上となる社会が到来すると推計されており、医療や介護の担い手不足が懸念されます。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和6年度から令和9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第9期）に基づき、高齢者が地域で暮らし続けられるための支援として、以下に重点を置き取り組みます。

- ・地域で見守る・支えあう認知症施策を推進します。
- ・在宅生活を支える医療と介護の連携強化に努めます。
- ・生きがいづくりの場の継続や介護予防の推進を図ります。

## (2) この施策が令和8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・委託型地域包括支援センターとの連携と後方支援、相談支援体制の強化に取り組みます。
- ・認知症の人とその家族にやさしいまちづくりに向け、関係機関と連携した体制づくりを進めます。
- ・地域で行われている生活支援サービスの活動支援を進めます。
- ・在宅医療や介護について住民の理解が深まるよう、普及啓発に取り組みます。

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：03 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち  
 施 策：04 高齢者が地域で暮らし続けられるための支援の推進

所管課長等職・氏名 地域包括支援センター長 佐藤 美智子

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和8年度	前年度	比較(%)	令和9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
2384	介護予防支援事業	6,829	6,656	2.6	6,815	6,815	6,829	27,288
4780	家族介護支援事業	25	25	0.0	25	25	25	100
4784	介護サービス相談員派遣事業	1,106	1,028	7.6	1,106	1,106	1,106	4,424
5162	介護予防普及啓発事業	18,191	18,337	△0.8	18,191	16,068	16,068	68,518
8862	滝沢市救急医療情報キット配付事業	53	93	△43.0	93	93	93	332
8915	成年後見制度利用支援事業	3,238	1,254	158.2	3,238	3,238	3,238	12,952
12890	認知症総合支援事業	4,373	4,165	5.0	4,373	4,373	4,373	17,492
13788	在宅医療・介護連携推進事業	4,538	4,439	2.2	4,538	4,538	4,538	18,152
14546	地域ケア会議推進事業	240	210	14.3	240	240	240	960
14580	介護予防・生活支援サービス事業	9,199	8,948	2.8	9,199	9,199	9,199	36,796
20978	重層的支援体制整備事業（総合相談支援・権利擁護事業）	10,200	9,240	10.4	10,200	10,200	10,200	40,800
20979	重層的支援体制整備事業（包括的・継続的ケアマネジメント事業）	4,361	4,138	5.4	4,361	4,361	4,361	17,444



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：04 様々な産業の活性化が繋がりが広がるまち  
 施 策：01 連携による観光産業の創出及び競争力のある物産振興と安心して働く環境の整備

所管課長等職・氏名 観光物産課長 朝岡 将人

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

滝沢市の豊かな自然や文化、地域産品等の特色を活かした観光物産への需要を喚起するとともに、産業経済団体、市内事業者への支援、近隣市町との連携を通じた観光及び物産振興を図ります。また、地域資源の情報発信による交流の推進と経済効果を生み出し、市内事業者の経営基盤強化を図ることにより幅広い世代の就労機会の確保を支援し、雇用の確保に努め地域産業の活性化を図ります。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合 単位 %	45.7	46.5 43.4	47 0	50 -	51 -	51 -	B 0.0	
2	滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	68.9	70.5 71.3	72 0	73.5 -	75 -	75 -	A 0.0	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	3334 観光振興事業 観光入込客数 単位 千人	目標値 実績	430 328	430 0	430 -	430 -	430 -	430 -	0 -
2	4385 地域職業相談室管理運営事業 就職件数 単位 件	目標値 実績	1,300 1,009	1,300 0	1,300 -	1,300 -	1,300 -	1,300 -	1,300 -
	単位	目標値 実績							
	単位	目標値 実績							
	単位	目標値 実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち

施 策：01 連携による観光産業の創出及び競争力のある物産振興と安心して働く環境の整備

所管課長等職・氏名 観光物産課長 朝岡 将人

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

本市の豊かな自然、文化及び地域産品等の資源の最新情報を把握し、関係機関と連携し、資源を活用した観光及び物産の振興を展開しています。観光物産の振興には、時代の潮流や新たな価値観を的確に把握し、それらに対応した地域の魅力の共有や発信を図る事業を企画、実施する必要があります。また、雇用分野では世界的な経済情勢の影響により、国内の労働環境が不安定な状況となっています。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

新型コロナウイルス感染症の感染症法の5類移行後、全国各地で各種催事が実施され、国内の人の流れが戻り、合わせて世界経済情勢等によりインバウンド観光の需要が高まるなど、国内の観光産業は活性化しています。その中でアドベンチャーツーリズムをはじめとする新しい観光ニーズが生まれるなど、観光物産分野では変化する諸課題や新たな価値観に対応しつつ、時代の潮流を踏まえた対応が求められています。また、雇用分野についても原材料、燃料費等の高騰による経済情勢への影響が深まる中で、国内の労働環境が不安定な状況であり、市内の労働環境についても注視し対応していく必要があります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・一般社団法人滝沢市観光物産協会の運営の自立性を高めるとともに観光、物産関係の事業者や関係機関と連携、協力を図りながら各種事業を企画、実施し市内観光資源を活用した観光産業の推進を図ります。
- ・（一社）滝沢市観光物産協会、滝沢市商工会や市内事業者と連携を図りながら市内物産資源を活用した特産品開発の支援を行い、ふるさと納税返礼品等に活用し物産振興を図ります。
- ・市内事業者における雇用の場の確保支援、求職者への雇用情報の提供等を実施し、幅広い世代が働く事の出来る場の確保を支援します。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・（一社）滝沢市観光物産協会の運営支援をするとともに、地域資源を活かした魅力ある観光メニューの開発に連携し取り組みます。
- ・チャグチャグ馬コの資源確保と伝統行事の維持保存に取り組みます。
- ・市内事業者の特産品開発を支援し、市内地域産品をふるさと納税返礼品に活用するなどし物産振興を図ります。
- ・市内事業者の雇用の確保を支援（市内求職者と市内事業所とのマッチング支援）し、働く場の確保を図ります。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち

施 策：02 ICT関連を中心とした産業集積の促進と産学官連携による人材育成、地域産業の活性化

所管課長等職・氏名 企業振興課長 中野亜希子

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

滝沢市の特色であるICT関連産業の集積と産学官連携の推進を実施するため、市の特色を活かした産業集積の展開、IPUイノベーションセンター、同パークを活かしたICT関連産業の集積促進を図ります。また、集積する企業、既存企業の事業については、産学官連携の推進や人材育成の取組を通して、競争力の強化を支援し、地域経済の力を伸ばす取組を実施します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	市の特色を活かした産業があると感じている人の割合 単 位 %	25.7	26.5	27.3	28.1	30	30	-	
	単 位		24.7	0	-	-	-	0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	2563 企業誘致事業 誘致企業の市内立地件数（拡充含む） 単 位 件	目標値 実績	1 1	1 0	1 -	1 -	1 -	1 -	0 -
2	6283 イノベーションセンター等管理運営事業 岩手県立大学周辺への企業入居・立地件数 単 位 件	目標値 実績	27 29	28 0	28 -	28 -	28 -	28 -	0 -
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：04 様々な産業の活性化が繋がりが広がるまち

施 策：02 ICT関連を中心とした産業集積の促進と産学官連携による人材育成、地域産業の活性化

所管課長等職・氏名 企業振興課長 中野亜希子

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

「市の特色を活かした産業がある」という指標の、「そう感じる」、「どちらかといえばそう感じる」と答えた市民の割合は24.7%（令和6年度）であり、低い状態にあるといえます。

市では、これまで、市内に2大学が立地する特色を活かし、滝沢市IPUイノベーションセンター・同パークを整備し、ICT産業集積を推進してきました。入居企業の多くが、岩手県立大学や滝沢市商工会等と連携し、共同研究、学生や企業の人材育成等に積極的に関わっていることが、地域産業の活性化につながっているものと考えております。今後、企業・大学・地域の連携による、若者が集まり様々な活動をしたくなる環境の創出と、IT企業に親和性の高い産業分野の企業等の集積する拠点の形成を進めていくことにより、更に市の特色を活かした産業として広く認識されていくと考えられます。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

DXの推進や、デジタル田園都市国家構想の実現に向け、地方のICT関連産業の役割は大きくなっているものと考えられます。現在、滝沢市IPUイノベーションセンター、同パークの空き部屋・空き区画とも残り少なくなっている中、産業用地拡張に向けた取り組みは急務であるものと考えられます。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和6年度から令和9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

この施策では、市の特色を活かした産業として、ICT関連産業の集積・拠点化を目指して、以下の点について取り組みます

- ・ ICT関連産業の集積を目指し、滝沢市IPUイノベーションパークの拡張に向けた具体的な検討を進めます。
- ・ IT企業の誘致を進め、盛岡広域都市圏におけるICT産業の拠点化を目指します。
- ・ 滝沢市産業振興条例に基づいた市内商工業者の振興に関する取組を行います。
- ・ 産学官連携によるIT企業人材育成・地域DX人材の育成を支援します。

## (2) この施策が令和8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・ 滝沢市IPUイノベーションパークの拡張に向け、用地取得に向けた協議を継続するとともに、整備に向けた基本設計に基づき関係機関と協議を行います。
- ・ 岩手県立大学の「企業学群構想」推進のため、大学とIPUイノベーションセンター企業との連携強化を図ります。
- ・ 大学やIPUイノベーションセンターの強みを活かした人材育成事業を推進し、市内企業の活性化を図ります。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策 : 04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち  
 施 策 : 03 多様な連携による若者が活躍できる環境づくりと価値創造

所管課長等職・氏名 若者活躍推進室長 中野亜希子

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

当市の強みとして、大学の立地に関連して大学生を中心とした若者が多い点が挙げられます。第1次滝沢市総合計画期間から、若者定住の推進・展開を図ってきましたが、社会環境や人々の価値観が激しく変化する中では、働き口や定住という視点はもちろんのこと、若者にとって「自分の望む生き方ができる環境」の重要性が増しています。そのような中で、当市の強みを生かしたまちづくりをさらに推進し、若者の交流や体験の機会を多く創出することにより、若者が自らの意思で活動し、チャレンジし続けることができる風土の醸成を目指します。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)
1	指標1 活躍している若者が多いまちであると感じている人の割合 単 位 %	20.4	21.3	22.2	23.1	24	24	-
	単 位		19.2	0	-	-	-	0.0
	単 位							
	単 位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	19123 若者活躍の場づくり推進事業 移住定住・若者交流に係る取組件数 単 位 件	目標値 実績	3 7	4 0	5 -	6 -	6 -	6 -	0 -
2	20165 大学未来共創事業 大学・学生との連携件数 単 位 件	目標値 実績	4 11	5 0	6 -	7 -	7 -	7 -	0 -
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：04 様々な産業の活性化が繋がりを広げるまち

施 策：03 多様な連携による若者が活躍できる環境づくりと価値創造

所管課長等職・氏名 若者活躍推進室長 中野亜希子

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

令和3年度から取り始めた「活躍している若者が多いまちである」という指標は「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と答えた市民の割合は19.2%（令和6年度）であり、まだ低い状態にありますが、その中でも18～34歳の世代の割合が最も高くなっています。

滝沢ミライプロジェクトをはじめとする若者主体の取り組みは増加傾向にあることから、若者世代の「地域と関りたい」という意識が高まっていると考えます。

これらを踏まえ、滝沢市における若者活躍の場づくりを環境を継続するとともに、35歳以上の世代にその取り組みを共有できる環境づくりを行うことが重要であると考えます。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大が、若者世代の生活に与えた影響は非常に大きなものがあります。

特に「人とのつながり」が遮断されたことにより、若い世代は直接人と接する機会が減り、その分オンラインでの交流など、新たな手法を用いた生活が当たり前のようになっていきます。

これらの状況を踏まえ、新たな「人とのつながり」を通じた場の幸せを模索していく必要があります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和6年度から令和9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

この施策では、滝沢市を「学生や若者がそれぞれ自分のやりたいことに取り組めるまち」にしていくための環境創りに取り組むものです。具体的には、以下の点について4年間取り組みます。

- ・学生を中心とした若者の想いを実現する「滝沢ミライプロジェクト」を継続して実施します。
- ・学生や若者の人材育成事業等地域や企業と連携した取組を推進します。
- ・若者の「自由な発想」により、若者自らが価値を生むための取組に対する支援・補助を行います。

## (2) この施策が令和8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・学生との連携事業や移住定住事業など、これまで実施してきた若者活躍に関する事業を進めます。
- ・学生を中心とした若者の想いを実現する「滝沢ミライプロジェクト」を継続して実施します。
- ・学生が「自由な発想」により、若者自らが事業を企画できる力を育成します。
- ・学生や若者の人材育成事業等地域や企業と連携した取組を推進します。
- ・若者の「自由な発想」により、若者自らが価値を生むための取組に対する支援・補助を行います。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち  
 施 策：04 新たな担い手育成や環境保全による持続可能な農林水産業の推進

所管課長等職・氏名 農林課長 松本 理

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

農業従事者の高齢化や担い手・後継者不足に加えて、海外情勢を背景とする生産資材価格の高騰や自然災害・気候変動など、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

こうした中、地域計画の実践、農地集積・集約の推進、農産物の高付加価値化等への取組及び相の沢牧野を中心とした畜産の振興により、次代の担い手の育成・確保に努め、経営の安定化を目指します。

また、農地や森林が持つ多面的機能の発揮は、広く一般市民の方々にも大きな役割を果たすことから、多面的機能支払交付金などの日本型直接支払制度の実施や森林環境譲与税の活用により、農地や森林の適正な管理を目指します。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基 準 値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目 標 値	進 捗 状 況
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度		
1	指 標 1 農業の担い手がいると感じる人の割合 単 位 %	7.2	7.9	8.6	9.3	10	10	-	
			8.9	0	-	-	-	0.0	
2	指 標 2 地場産品が広く販売されていると感じる人の割合 単 位 %	39.2	40.7	42.2	43.6	45	45	-	
			38.9	0	-	-	-	0.0	
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	2178 相の沢牧野管理事業 家畜の放牧延べ頭数 単 位 頭	目 標 値	113,000	113,000	113,000	113,000	113,000	113,000	0
		実 績	109,886	0	-	-	-	-	-
2	3668 農業担い手育成対策事業 新規就農者相談対応件数 単 位 件	目 標 値	20	30	40	50	60	60	0
		実 績	10	0	-	-	-	-	-
3	6268 有害鳥獣対策事業 農作物被害額 単 位 千円	目 標 値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	0
		実 績	2,734	0	-	-	-	-	-
4	12497 農地中間管理事業 担い手への農地集積率 単 位 %	目 標 値	62.5	65	67.5	70	72.5	75	0
		実 績	65.7	0	-	-	-	-	-
5	18766 日本型直接支払事業 多面的機能支払交付金事業取組面積（農地維持） 単 位 a	目 標 値	53,839	53,839	52,901	52,901	52,901	52,901	0
		実 績	53,839	0	-	-	-	-	-

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政策：04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち

施策：04 新たな担い手育成や環境保全による持続可能な農林水産業の推進

所管課長等職・氏名 農林課長 松本 理

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

農業従事者の高齢化や担い手不足が課題となっている一方、転職や定年後に就農する方もいます。新たに就農する方に対しては、農地の確保、栽培技術の習得及び生産性の向上等さまざまな支援が必要となりますが、市農業経営指導マネージャー、市農業委員会及び関係機関と連携しながら支援しています。また、地域を担う認定農業者の育成についても育成・指導しています。

今までの家族農業の支援に加え、設立された集落営農組織や法人の経営基盤強化も高齢化や担い手不足の解決手段となるものと考えています。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

TPP11、日欧EPAの発効、ウクライナ危機などの世界情勢、人口減少による市場の縮小、農林業従事者の高齢化や担い手不足、米価などの農産物価格の不安定化及び物価高騰など、様々な要因により影響を受けることとなります。

また、近年は予想できない高温や異常降雨等の気候変動による収量や品質の低下等が懸念されており、大きな影響をもたらす要因となっています。

さらには国の方針により施策が大きく影響を受けることから、国の動向を注視する必要があります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・農業の担い手育成・確保については、市内全地区において地域計画の実践に向けた取組を進め、担い手への農地集積・集約を推進します。また、岩洞水路の改修、生産施設などの基盤整備の促進、多面的機能支払交付金への取組を推進します。
- ・農商工連携による6次産業化や農産物の高付加価値化を推進し、生産者の所得向上やブランド化を図ります。
- ・相の沢牧野の活用を中心とした畜産振興により、次代の担い手の経営基盤を強化し持続可能な畜産農家を育成します。
- ・森林環境譲与税を活用し、森林の持つ様々な多面的機能を発揮できるよう適正な管理を行うとともに、松くい虫被害対策を推進します。
- ・野生鳥獣による農作物被害に加え、市街地への出没による人的被害も懸念されることから、地域おこし協力隊員や関係機関等との連携強化を図るとともに、自衛対策方法の周知や電気柵設置・わな免許取得への支援を行います。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・令和6年度に策定し、令和7年度に各地域で優先して取り組む事項を設定した地域計画を実践していくため、各地域における話し合いを深めながら事業の導入や仕組みの構築等を図るとともに、各地域で設立した法人や農地利用協議会等の横連携を強化する体制を構築します。
- ・森林環境譲与税を活用し、森林を適正に管理します。

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：04 様々な産業の活性化が繋がり広がるまち

施 策：04 新たな担い手育成や環境保全による持続可能な農林水産業の推進

所管課長等職・氏名 農林課長 松本 理

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和8年度	前年度	比較(%)	令和9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
2178	相の沢牧野管理事業	90,505	88,142	2.7	55,000	55,000	55,000	255,505
2413	畜産環境改善支援補助事業	5,500	5,500	0.0	5,500	5,500	5,500	22,000
3603	林道等維持管理事業	3,052	23,054	△86.8	3,041	3,041	3,041	12,175
3658	森林整備事業	3,184	9,782	△67.5	3,500	3,500	3,500	13,684
3668	農業担い手育成対策事業	24,412	43,556	△44.0	27,000	27,000	27,000	105,412
6268	有害鳥獣対策事業	18,958	12,683	49.5	18,000	16,000	16,000	68,958
7812	農産物地域ブランド化推進事業	3,296	3,433	△4.0	3,500	3,500	3,500	13,796
11449	国営かんがい排水事業(岩手山麓地区)	0	0	0.0	0	0	0	0
12216	県営農村災害対策整備事業	28,909	22,618	27.8	26,573	26,573	26,573	108,628
12497	農地中間管理事業	1,891	2,163	△12.6	2,683	2,683	2,683	9,940
17214	森林経営管理事業	19,694	20,702	△4.9	25,861	23,411	23,411	92,377
18764	農業制度資金利子補給補助事業	512	612	△16.3	397	340	285	1,534



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

施 策：01 活力ある都市づくりの推進

所管課長等職・氏名 都市政策課長 佐藤 志貴

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

都市計画、公共交通、住宅、景観など都市に関する施策の推進により、良好な住環境を形成するとともに、魅力と活力が満ち安心で充実した日常生活を送ることができる都市づくりを目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)
1	指標 1 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単 位 %	68.3	69 71.6	70 0	71 -	72 -	72 -	- 0.0
	単 位							
	単 位							

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	1107 市営住宅管理運営事業 市営住宅入居率 単 位 %	目標値 実績	100 100	100 100	100 -	100 -	100 -	100 -	100 -
2	2022 複合交通施設管理運営事業 I GR 巣子駅の1日平均乗降人員 単 位 人/日	目標値 実績	925 960	950 0	950 -	950 -	950 -	950 -	0 -
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

施 策：01 活力ある都市づくりの推進

所管課長等職・氏名 都市政策課長 佐藤 志貴

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

「滝沢市都市計画マスタープラン」や「盛岡都市圏地域公共交通計画」などにに基づき各施策に取り組んでおりますが、将来の持続可能なまちの姿を見据え、今後はさらに土地利用と公共交通が連携した都市づくりを進める必要があります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

本市の人口はしばらくの間は、大きな変動がないとされている一方、年齢別人口構造の変化は比較的早く発現すると推測されており、このことから住民ニーズやライフスタイルの変化により多様化は大きくなると予見されます。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・市民がふれあい交流するための拠点や、雇用や活力を生み出す拠点形成の推進を図るとともに、市内の主要拠点間における公共交通の利便性向上を図り、活力ある都市づくりを進めます。
- ・良好な住宅環境の形成のため、空き家対策を推進します。
- ・交通広場及び複合交通施設について、関係者と連携し、適切に管理します。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・中心拠点商業地区の整備について、引き続き、開発事業者・市商工会などの関係機関と協議を進め、早期完成を目指すとともに、市役所周辺を対象とする中心拠点形成に向けた今後の整備方針などについて調査・研究を進めます。
- ・地域公共交通の維持・確保に向け、域内交通の再編や利用促進など盛岡都市圏地域公共交通計画に基づき各施策に取り組めます。
- ・空家等対策計画に基づき各施策を展開し、良好な住宅環境の形成のため、更なる空家等対策に取り組めます。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

施 策：02 計画的な道路整備と維持管理の推進

所管課長等職・氏名 道路課長 大森 英樹

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

生活基盤である道路については、幹線市道の計画的な整備を行い、安全で快適な道路環境の構築を推進します。また、老朽化した道路施設の機能維持を図るため、適正な維持管理を継続し、長寿命化を目指してまいります。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指 標 1 交通事故発生件数 単 位 件以下	41	41	41	41	41	41	-	
			42	0	-	-	-	0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	4005 交通安全施設（施設修繕）整備事業 交通安全施設等修繕実施箇所 単 位 箇所	目標値	3	3	3	3	3	3	0
		実績	2	0	-	-	-	-	-
2	7509 菓子野沢線道路改良舗装事業 事業費による換算延長(年度事業費/総事業費×総延長) 単 位 m	目標値	72	91	23	111	201	201	0
		実績	185	0	-	-	-	-	-
3	16107 向新田線道路改良舗装事業 事業費による換算延長(年度事業費/総事業費×総延長) 単 位 m	目標値	156	176	15	0	0	0	0
		実績	276	0	-	-	-	-	-
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

施 策：02 計画的な道路整備と維持管理の推進

所管課長等職・氏名 道路課長 大森 英樹

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

道路新設改良事業、市道改修事業、交通安全施設整備事業等により、安全で安心な道路環境の整備を進めてきましたが、児童生徒の登下校をはじめとした人にやさしいより交通安全に配慮した道路環境の整備が必要となっています。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

資材等の高騰により、道路整備の進捗に影響が出ていることから、さらなる財源の確保が重要となっています。また、自然災害が激甚化かつ頻発化していることから、安全で安心な道路環境を構築するために、道路施設の適切な維持管理が必要となっています。冬期間の安全確保対策である除雪においては、高齢化による雪処理の困難世帯が増加する等、冬期間の課題は地域ごとに多様化しており、地域にあった対策が必要となっています。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・市内の地域間を安全かつ円滑に移動できる道路ネットワークの構築
- ・中心市街地形成に向けた幹線市道の整備の推進
- ・市民、除雪業者、市の三者協働除雪の浸透と展開
- ・計画的な老朽化対策と適正な維持管理

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・防災・減災に資する道路として市道第1先古川線の整備を進めます。
- ・地域間を安全かつ円滑に移動できる幹線市道の整備を進めます。
- ・歩行者空間の確保等、安全で安心な道路環境の整備を進めます。
- ・持続可能な除雪体制の構築を進めるとともに、協働除雪の浸透と展開を図ります。

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

施 策：02 計画的な道路整備と維持管理の推進

所管課長等職・氏名 道路課長 大森 英樹

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和 8年度	前年度	比較 (%)	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
3298	マイロード支援事業	1,375	2,585	△46.8	2,100	2,100	2,100	7,675
3496	道路台帳補正事業	4,239	3,751	13.0	3,200	3,200	3,200	13,839
3586	市道除排雪事業	221,415	281,370	△21.3	229,154	236,028	243,108	929,705
3997	橋梁維持補修事業	41,567	29,812	39.4	42,377	44,361	45,863	174,168
4005	交通安全施設（施設修繕）整備事業	4,000	4,000	0.0	4,000	4,000	4,000	16,000
4080	市道等維持管理事業	151,321	158,508	△4.5	168,160	173,204	178,400	671,085
4127	市道改修事業	223,312	165,451	35.0	161,314	166,153	171,137	721,916
6076	国道4号交差点接続部整備事業（第1巣子線外2路線）	62,000	122,000	△49.2	0	0	0	62,000
7509	巣子野沢線道路改良舗装事業	27,000	3,000	800.0	133,497	241,000	241,000	642,497
11016	畜産試験場柳沢線道路改良舗装事業	5,495	11,062	△50.3	0	0	0	5,495
11604	第4砂込線道路改良舗装事業	0	0	0.0	0	0	0	0
11606	第6湯舟沢線道路改良舗装事業	0	0	0.0	0	1,300	0	1,300



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

施 策：03 河川及び公園の計画的な整備・改修と維持管理の推進

所管課長等職・氏名 河川公園課長 五十嵐淳

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【この施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

- ・市が管理する準用河川及び普通河川を含む法定外公共物について、適正な維持管理と計画的な改修を実施することにより、台風や局地的集中豪雨による降雨災害に強い、「安全・安心に暮らせるまち」の実現を目指します。
- ・市民が育み、楽しみ、集うなど、日常的に使用できる公園について、適正な維持管理と計画的な改修を実施することにより、「ひとにやさしく、誰もが快適に暮らせるまち」の実現を目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	災害に強いまちだと感じている人の割合 単 位 %	46.4	47 44	47.6 0	48.2 -	48.8 -	48.8 -	- 0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	1349 河川維持管理事業 スクリーン巡視回数（降雨期） 単 位 回／週	目 標 値	1	1	1	1	1	1	0
		実 績	1	0	-	-	-	-	-
2	19872 公園維持管理事業 維持管理公園数 単 位 公園	目 標 値	191	191	191	191	191	191	0
		実 績	191	0	-	-	-	-	-
3	19873 公園改修事業 単年度改修基数（遊具） 単 位 基	目 標 値	10	10	10	10	10	10	0
		実 績	11	0	-	-	-	-	-
4	21928 急傾斜地対策事業 急傾斜地崩壊対策設計箇所 単 位 箇所	目 標 値	0	0	3	0	0	0	0
		実 績	0	0	-	-	-	-	-
5	22107 河川改修事業 仁沢瀬川改修済み延長 単 位 m	目 標 値	292	380	410	490	570	650	0
		実 績	292	0	-	-	-	-	-

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

施 策：03 河川及び公園の計画的な整備・改修と維持管理の推進

所管課長等職・氏名 河川公園課長 五十嵐淳

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・河川の整備を計画的に推進するため、補助や起債などの動向を確認し、予算を継続確保していく必要があります。
- ・準用河川及び普通河川を含む法定外公共物を適正管理するため、維持管理に使用できる起債など特定財源の確保が必要です。
- ・河川及び公園を継続して適正に維持管理していくためには地域住民の理解と協力が不可欠であり、対話を重ね地域を守るという機運を高めることが重要です。
- ・局地的な集中豪雨等の多発化により土砂災害等の発生が懸念されているなか、砂防施設及び木賊川遊水地の早期整備完了に向け、関係機関等と連携、調整し取り組んでいく必要があります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・気候変動等による線状降水帯の発生など、水災害の激甚化、頻発化により、自然河岸の浸食、崩落及び越水による被害が今後更に増加すると予測され、予算を確保しながら河川の改修を推進するとともに、事前防災対策としての浚渫など、適正な維持管理を継続していく必要があります。
- ・地域住民と協働で実施している河川及び公園施設の維持管理において、地域の実情に対応した施策の検討が必要です。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・交付金や補助金等財源を確保した河川整備の計画的な推進
- ・準用河川及び普通河川等法定外公共物の適正な維持管理
- ・住民協働の取組を推進した公園管理と計画的な公園施設改修
- ・国、県が所掌する砂防事業等、治水施設の整備促進に係る連携

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・河川整備に係る予算を緊急自然災害防止対策事業債に見直し、併せて河川改修事業として統合し更なる推進を図ります。
- ・河川管理として、緊急浚渫推進事業債を継続活用し、浚渫及び支障木伐採による事前防災対策を進めます。
- ・公園施設の改修、維持管理として、公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を進めます。
- ・土砂災害特別警戒区域に指定された市所有地3箇所にも崩壊対策を実施し、安全・安心な生活環境の構築を図ります。
- ・国及び県事業となる砂防施設及び治水施設の早期整備完了に向け、関係機関と連携して取り組みます。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち  
 施 策：04 上下水道事業の健全かつ持続可能な経営と理解促進のための情報発信

所管課長等職・氏名 経営課長 鈴木 清香

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

水道事業及び下水道事業を取り巻く経営環境は、将来的に人口減少や節水志向にともなって水需要及び汚水処理水量の減少が見込まれる一方、老朽化する施設の更新需要や災害への対応など、厳しさを増しています。水道及び公共下水道は、市民生活に欠かすことができない重要なインフラであり、将来にわたって安全な水道水の供給と水循環を確保できるよう、健全かつ持続可能な事業の経営を目指します。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指 標 1 経営資本営業利益率（水道） 単 位 %	1.1	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	-	
			1.2	0	-	-	-	0.0	
2	指 標 2 経費回収率（下水道） 単 位 %	99.6	100	100	100	100	100	-	
			99.6	0	-	-	-	0.0	
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	7784 水道事業経営 経営資本営業利益率 単 位 %	目標値	0.7	0.7	0.7	0.5	1.3	1.1	0
		実績	1.2	0	-	-	-	-	-
2	20482 下水道事業経営 経費回収率 単 位 %	目標値	100	100	100	100	100	100	0
		実績	99.6	0	-	-	-	-	-
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

施策：04 上下水道事業の健全かつ持続可能な経営と理解促進のための情報発信

所管課長等職・氏名 経営課長 鈴木 清香

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・総合計画に定める政策、施策、指標は、滝沢市水道事業ビジョンに掲げる「安心して飲むことができる安全な水道」「安定した給水を実現する強靱な水道」「環境に配慮した持続可能な水道」の3つの施策や、滝沢市下水道事業経営戦略の経営の基本方針「環境にやさしく快適な下水道整備」「水洗化の促進」「接続率向上の取組み」「下水道施設の老朽化対策」「下水道経営基盤の充実」「広域的な汚水処理計画の策定と実施」にそれぞれリンクしています。
- ・今後老朽化が進む施設の更新需要に適正に対応するために、財政等の経営基盤を安定的に保ちながら、利用者からの事業に対する信頼を得られるような情報発信に努めます。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・事業が直面する課題として、将来的に人口減少等にもなって水需要や汚水処理水量の減少が見込まれる中、今後一層進む施設の老朽化、耐震化の遅れ、人材の確保等は事業の継続にとって深刻な問題です。課題を解決する方策の例として国では官民連携や広域連携を推進しています。
- ・大規模災害、生活様式の変化、経済情勢やエネルギー情勢の急激な変化も事業の運営に大きく影響します。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・適正な水道料金、下水道使用料の算定と効率的な事業運営による財政の健全化を図ります。
- ・利用者に密着したサービスの向上に努めます。
- ・事業運営への参画意識醸成のための広聴広報の充実を図ります。
- ・職員の能力向上と技術継承による人材育成と組織力の強化を図ります。
- ・官民連携及び広域連携による業務効率化を検討していきます。
- ・下水道未接続者への水洗化促進、接続率向上に取り組みます。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・滝沢市下水道事業経営戦略（平成29年度～令和8年度）に基づき経営を適正に維持するとともに、次期経営戦略の策定を行います。
- ・長期財政シミュレーションを行い、料金等の見直し時期や体系の最適化について検討します。
- ・市民の理解と共感を得られるようなわかりやすい広聴広報を目指します。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

施 策：05 安心・安全かつ強靱な上下水道施設の整備と自然環境保全及び水循環の推進

所管課長等職・氏名 施設課長 長谷川 唯倫

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

岩手山麓の恵まれた地下水を水源とした安全でおいしい水を市民に提供し続けるため、水源保護の推進と老朽水道施設の更新を実施し、強靱な水道を目指します。また、水道事業ビジョン及び中期経営計画に基づき水道施設の計画的な更新を実施し、安定した給水を継続します。

下水道においては、下水道施設の適正な維持管理を図るとともに、将来的な下水道施設の更新・改築を行うために必要な施設点検や調査を行い計画的な事業実施を図ります。また、市街地の浸水対策として雨水排水施設整備を行います。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指 標 1 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合 単 位 %	73.3	79 71.7	80 0	81 -	82 -	82 -	- 0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	5212 配水管整備事業 管路耐震化率（導・送水管を除く） 単 位 %	目 標 値	36.5	37	37.7	38.4	39.1	39.8	0
		実 績	36.7	0	-	-	-	-	-
2	5215 漏水対策事業 漏水率 単 位 %	目 標 値	6.5	6.4	6.3	6.2	6.1	6	0
		実 績	6.1	0	-	-	-	-	-
3	6270 基幹水道施設整備事業 配水池貯留能力 単 位 日	目 標 値	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0
		実 績	0.85	0	-	-	-	-	-
4	13792 下水道整備事業（雨水） 累計整備面積 単 位 ha	目 標 値	270	285	285	285	285	285	0
		実 績	269	0	-	-	-	-	-
5	13793 下水道整備事業（汚水） 人口普及率（公共下水道） 単 位 %	目 標 値	68.8	69.1	71.3	71.8	72.3	72.8	0
		実 績	71.4	0	-	-	-	-	-

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：05 ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

施 策：05 安心・安全かつ強靱な上下水道施設の整備と自然環境保全及び水循環の推進

所管課長等職・氏名 施設課長 長谷川 唯倫

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・総合計画に定める政策、施策、指標は、滝沢市水道事業ビジョンに掲げる「安心して飲むことができる安全な水道」「安定した供給を実現する強靱な水道」「環境に配慮した持続可能な水道」の3つの施策や、滝沢市下水道事業経営戦略の経営の基本方針にそれぞれリンクしています。
- ・今後老朽化が進む施設を効率的に維持更新するために、利用者からの事業に対する信頼を得られるような情報発信に努めます。
- ・下水道においては、ストックマネジメント計画に基づき、計画的な機器の交換を行うことにより、安心安全な下水道施設の維持管理を図っております。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・人口減少等に伴って水需要や汚水処理水量の減少が見込まれる中、今後施設の老朽化や耐震化の遅れ、人材確保等は事業を継続するうえで深刻な問題であり、課題解決の方策として、国では官民連携や広域連携を推進しています。
- ・激甚化する災害や生活様式の変化、経済やエネルギー情勢の変化、建設費用の高騰等への対応が事業を実施するうえで必要となります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・岩手山麓の恵まれた地下水源の保全と適正な水質管理を継続します。
- ・水道施設更新計画策定と施設耐震化の促進及び漏水防止対策を継続します。
- ・不明水対策を含めた下水道施設の適正な維持管理を行います。
- ・下水道施設の更新・改築の中長期計画を策定します。
- ・市街地等の浸水対策を推進します。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・第3次滝沢市水道事業ビジョン（基本計画）及び中期経営計画（前期）に基づき、水道施設更新計画の策定を進めます。
- ・地下水源の環境保全に向け、水源地及び水源保護用地の保全を実施します。
- ・清浄な地下水源の有効活用に向け、水系連絡管の整備を実施します。
- ・下水道汚水砂込幹線工事を実施します。
- ・ストックマネジメント計画の見直しを行います。
- ・大釜排水区雨水幹線の整備を進めます。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち  
 施 策：01 安全安心でいきいきと学習できる教育基盤の充実

所管課長等職・氏名 教育総務課長 滝田 俊一

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

児童生徒が一日の大半を過ごす学習や生活の場であることや、災害時には避難場所となることから、既存の学校施設の修繕や長寿命化（改修）を図るなど必要な教育環境の整備を行います。あわせて、少子化、児童生徒の偏在化を踏まえ中長期的な展望のもとに学校規模の適正化を検討します。

また、経済的に困窮している世帯への支援を行い就学機会の確保を図ります。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	28.3	33 27.3	36 0	39 -	42 -	42 -	- 0.0	
2	子ども達が生き生きとしていると感じている人の割合 単位 %	42.6	43 39.7	44 0	44 -	45 -	45 -	- 0.0	
	単位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	136 小学校校舎等補修事業 補修工事学校数 単位 校	目標値	9	9	9	8	8	8	0
		実績	9	0	-	-	-	-	-
2	750 中学校校舎等補修事業 補修工事学校数 単位 校	目標値	4	4	4	4	4	4	0
		実績	4	0	-	-	-	-	-
3	1397 就学援助・就学奨励事業 就学援助費を支給した児童生徒の人数 単位 人	目標値	700	700	670	670	650	600	0
		実績	742	0	-	-	-	-	-
4	18837 小学校校舎等改修事業 改修工事実施校数（のべ数） 単位 校	目標値	14	4	4	7	7	6	0
		実績	14	5	-	-	-	-	-
5	18838 中学校校舎等改修事業 改修工事実施校数（のべ数） 単位 校	目標値	5	1	6	4	4	1	0
		実績	5	1	-	-	-	-	-

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：01 安全安心でいきいきと学習できる教育基盤の充実

所管課長等職・氏名 教育総務課長 滝田 俊一

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

・学校施設・設備の修繕や改修を実施するなど教育環境の整備に取り組むほか、経済的に困窮している世帯の児童生徒への支援等を行ってきましたが、学校教育環境全体の施策については、少子化、児童生徒の偏在化、経済的環境やICT環境の変化、学校の施設・設備の老朽化などの様々な課題があり、その対応が求められています。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

・学校施設・設備の老朽化や気候変動への対応が全国的な課題となっているほか、GIGAスクール構想第2期を推進するための基盤整備などICT教育の進展が求められています。  
・少子化が進展する中、市内の小中学校の児童生徒の偏在化が認められます。  
・経済的に困窮している世帯の児童生徒が増加傾向にあることから引き続き支援が必要な状況にあります。  
・教職員を取り巻く環境整備（学校における働き方改革等）への対応が求められています。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和6年度から令和9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

・学校施設等の老朽化に伴う修繕実施と長寿命化（改修）の検討  
・学校規模の適正化についての検討  
・経済的に困窮している世帯への支援による就学機会の確保  
・学校のICT環境の充実  
・学校衛生委員会の開催等による教職員の安全と健康の確保

## (2) この施策が令和8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

・学校施設・設備の老朽化対策等の教育環境の整備  
・姥屋敷小中学校の統合に係る教育環境の整備  
・教育用タブレットの更新等、ICTを活用した学習環境の整備  
・教職員への業務支援による学校教育活動の充実

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：01 安全安心でいきいきと学習できる教育基盤の充実

所管課長等職・氏名 教育総務課長 滝田 俊一

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和 8年度	前年度	比較 (%)	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
56	小学校維持管理事業	137,325	143,706	△4.4	143,304	142,204	147,871	570,704
136	小学校校舎等補修事業	27,997	36,947	△24.2	25,000	25,000	25,000	102,997
570	中学校維持管理事業	79,497	72,498	9.7	80,462	80,462	85,724	326,145
750	中学校校舎等補修事業	20,642	15,999	29.0	18,000	18,000	18,000	74,642
1343	滝沢市教育研究団体協議会交付金事業	4,918	4,622	6.4	4,918	4,918	4,918	19,672
1391	滝沢市小中学校文化体育連盟補助事業	6,677	6,677	0.0	6,677	6,677	6,677	26,708
1397	就学援助・就学奨励事業	55,234	81,534	△32.3	58,282	52,881	52,760	219,157
1434	就学助成事業	12,286	12,369	△0.7	11,967	11,967	11,967	48,187
1512	小学校教育用コンピュータ整備事業	274,652	23,034	+超過	0	45,000	0	319,652
1596	要保護・準要保護医療事業	398	439	△9.3	398	398	398	1,592
3891	小学校備品購入事業	19,607	7,892	148.4	6,765	5,465	5,465	37,302
3893	中学校備品購入事業	2,780	25,748	△89.2	3,850	3,850	3,100	13,580



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：02 「生きる力」を育む学校教育の充実

所管課長等職・氏名 学校教育指導課長 田村 大樹

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

目指す学校像として「正義」と「信頼」の学校を掲げ、子どもたちが安心して生き生きと生活できる学校づくりを目指します。また、「生きる力」を育む学習指導要領の趣旨を踏まえ、滝沢市学校教育目標「明るく かしこく たくましい子ども」を育成するため、確かな学力を育む教育の推進、豊かな人間性や社会性の育成、健康・安全活動の支援の充実を図る中で、子どもたちが学びによる幸福感を味わえるような学校教育を目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	5年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童の割合（小学校） 単位 %以上	81	81 80.6	81 0	81 -	81 -	81 -	- 0.0	
2	1、2年生の時に受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた生徒の割合（中学校） 単位 %以上	87	87 81.7	87 0	87 -	87 -	87 -	- 0.0	
	単位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	3270 学校安全体制整備推進事業 スクールガード登録者数 単位 人	目標値	240	240	240	240	240	240	240
		実績	230	0	-	-	-	-	-
2	3322 学力向上・指導力向上事業 学力検査等実施回数 単位 回	目標値	5	5	5	5	5	5	5
		実績	5	0	-	-	-	-	-
3	5052 不登校児童生徒解消対策事業 1000人当たりの不登校児童生徒数 単位 人	目標値	20	20	20	20	20	20	20
		実績	25.3	0	-	-	-	-	-
4	13739 授業力向上のための学校訪問等事務 学力向上のための学校訪問実施回数 単位 回	目標値	26	26	26	26	26	26	26
		実績	26	0	-	-	-	-	-
5	13740 実践的指導力向上のための各種研修会開催事務 校種間連携研修会開催回数 単位 回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
		実績	1	0	-	-	-	-	-

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：02 「生きる力」を育む学校教育の充実

所管課長等職・氏名 学校教育指導課長 田村 大樹

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

本市の児童生徒の学力については、全国基準と同等の水準を維持していますが、今後、ICTの効果的な活用を促し、学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善の取組をさらに充実させる必要があります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

学力向上については、学習指導要領の趣旨を踏まえ、全ての子どもたちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現が求められており、市民の関心が今後も一層高まっていくことが予測されます。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・ICTを効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の推進
- ・郷土を愛する児童生徒を育む「滝沢魅力学」の推進
- ・児童生徒の「居場所づくり」「絆づくり」の推進
- ・「滝沢市部活動ガイドライン」に基づく適切な部活動の推進

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・ICTを活用し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善の取組の推進
- ・郷土を愛する心を育む「滝沢魅力学」の展開
- ・姥屋敷小中学校統廃合に向けた取組の推進

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：02 「生きる力」を育む学校教育の充実

所管課長等職・氏名 学校教育指導課長 田村 大樹

## (3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和8年度	前年度	比較(%)	令和9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
1689	総合的な学習の時間推進事業	1,164	1,263	△7.8	1,164	1,164	1,164	4,656
1700	ラーニング・サポーター・プロジェクト事業	253	379	△33.2	253	253	253	1,012
1720	就学指導事業	326	375	△13.1	318	318	318	1,280
1745	小学校教育振興事業	19,714	19,144	3.0	20,418	60,644	20,256	121,032
2553	中学校教育振興事業	14,404	34,242	△57.9	13,137	13,506	33,175	74,222
2989	派遣指導主事設置事務	6,907	6,806	1.5	6,907	6,907	6,907	27,628
3093	学校保健事業	16,319	17,300	△5.7	16,319	16,319	16,319	65,276
3172	学校医等設置事務	10,014	9,934	0.8	9,513	9,513	9,513	38,553
3207	学校教育指導事業	17,620	16,755	5.2	17,620	17,620	17,620	70,480
3227	国際理解推進事業	17,167	17,167	0.0	17,167	17,167	17,167	68,668
3270	学校安全体制整備推進事業	538	458	17.5	458	458	458	1,912
3275	学校教育振興事業	380	379	0.3	376	371	371	1,498

前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：02 「生きる力」を育む学校教育の充実

所管課長等職・氏名 学校教育指導課長 田村 大樹

(3) 所管実行計画事業費一覧

No	事務事業名 分野別計画 実施計画	事業費計画額						
		令和 8年度	前年度	比較 (%)	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4ヵ年計
3322	学力向上・指導力向上事業	2,988	2,820	6.0	3,096	3,096	3,096	12,276
5052	不登校児童生徒解消対策事業	11,356	10,705	6.1	11,356	11,356	11,356	45,424
5582	特別支援教育支援員設置事業	62,983	56,491	11.5	62,983	62,983	62,983	251,932
10836	学校司書設置事業	8,460	7,992	5.9	8,460	8,460	8,460	33,840
11979	滝沢市小中学校復興教育支援事業	467	441	5.9	467	467	467	1,868
13738	校長、副校長、教務主任等各種会議開催事務	0	0	0.0	0	0	0	0
13739	授業力向上のための学校訪問等事務	0	0	0.0	0	0	0	0
13740	実践的指導力向上のための各種研修会開催事務	0	0	0.0	0	0	0	0
15668	中学校における部活動指導員の配置事業	4,088	4,056	0.8	4,088	4,088	4,088	16,352
16054	医療的ケアのための看護師配置事業	0	2,194	皆減	0	0	0	0
18748	社会科副読本改訂事業	0	0	0.0	3,455	0	0	3,455
19271	小学校プログラミング教育推進事業	1,182	1,050	12.6	1,182	1,182	1,182	4,728

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：03 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進

所管課長等職・氏名 生涯学習スポーツ課長 佐々木 敬志

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

- ・第2次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画学びプランたきざわに基づき、「郷土を愛し未来を切り拓く力に満ちた人づくり」を目指して、部局横断的かつ多様な主体と連携・協働した生涯学習とスポーツの推進を図ります。
- ・大学や関係機関など多様な主体と連携・協働し、学びを通じた誰一人取り残されない環境づくりと全世代を対象とした学びあいの場の創出、リカレント教育の推進を図ります。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単 位 %	42.9	43 41.5	43.5 0	44 -	45 -	45 -	- 0.0	
	単 位								
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	1019 二十歳のつどい開催事業 対象者数に対する出席率（過去5年平均出席率換算） 単 位 %	目標値 実績	62 59.7	63 0	64 -	65 -	66 -	67 -	67 -
2	1094 地域学校協働活動推進事業 たきざわ学びフェスタ参加者数 単 位 人	目標値 実績	220 191	230 0	240 -	250 -	260 -	270 -	270 -
3	2424 滝沢総合公園管理運営事業 滝沢総合公園体育館利用件数（個人使用を除く） 単 位 件	目標値 実績	3,300 2,950	3,400 0	3,500 -	3,500 -	3,500 -	3,500 -	3,500 -
4	13723 地域スポーツ推進事業 市民体育祭参加人数 単 位 人	目標値 実績	750 457	800 0	850 -	900 -	950 -	950 -	950 -
5	20018 リカレント教育推進事業 多様な主体と連携・協働したセミナー開催件数 単 位 件	目標値 実績	4 8	6 0	8 -	10 -	10 -	10 -	10 -

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：03 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進

所管課長等職・氏名 生涯学習スポーツ課長 佐々木 敬志

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

第2次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画学びプランたきざわに基づき、部局横断的かつ大学や関係機関など多様な主体と連携・協働した生涯学習とスポーツの推進を目指し、学びを通じた誰一人取り残されない環境づくりと全年代を対象とした学びあいの場の創出に向けた施策の展開が必要です。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

社会課題や教育課題の多様化・複雑化に伴い、生涯学習とスポーツ推進施策においても柔軟な推進体制の検討、スポーツ共生社会を目指した施策の展開が求められています。

また、老朽化が進むスポーツ施設等においては計画的な環境整備について検討を進める必要があります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・学びプランたきざわに基づく生涯学習及びスポーツ推進施策の展開
- ・子どもから高齢者まで様々な世代を対象とした学びあいの場の創出
- ・教育振興運動と連動した地域学校協働活動の推進
- ・スポーツ共生社会を目指した地域スポーツの推進

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・リカレント教育の推進及び大学や関係機関など多様な主体と連携した講座等の開催
- ・地域学校協働活動による「家庭学習の充実」と「体験活動の充実」
- ・スポーツ施設等の老朽対策や利用活性化に向けた施設の環境整備と在り方の検討
- ・滝沢総合公園等指定管理に関する次期指定管理者の選定



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：04 文化に親しみ学ぶ環境の充実と文化芸術の振興

所管課長等職・氏名 文化振興課長 岡田 久美

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

- ・ 伝統文化や芸術に親しむ機会を創出し、次世代継承の支援を図ります。
- ・ 湖山図書館や埋蔵文化財センターなどの郷土資料の保護と充実を図り、学びの環境の充実を図ります。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指 標 1 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数 単 位 人以上	2,642	2,680 2,730	2,740 0	2,800 -	2,850 -	2,850 -	- 0.0	
2	指 標 2 趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合 単 位 %	13.8	14 14.2	15 0	16 -	17 -	17 -	- 0.0	
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	149 埋蔵文化財センター管理運営事業 埋蔵文化財センター年間利用者数 単 位 人	目 標 値 実 績	2,600 2,385	2,600 0	2,700 -	2,700 -	2,700 -	2,700 -	2,700 -
2	816 図書館管理運営事業 図書の貸出冊数 単 位 冊	目 標 値 実 績	140,000 133,742	140,000 0	140,000 -	141,000 -	141,000 -	141,000 -	0 -
3	1934 芸術祭開催事業 「芸術祭たきざわ」の入場者数 単 位 人	目 標 値 実 績	2,400 2,266	2,450 0	2,500 -	2,550 -	2,600 -	2,650 -	2,650 -
4	2070 伝統文化支援事業 「郷土芸能まつり」の入場者数 単 位 人	目 標 値 実 績	280 280	290 0	300 -	300 -	300 -	300 -	300 -
5	2126 文化財・天然記念物保護事業 指定文化財巡回・整備件数 単 位 件	目 標 値 実 績	15 16	15 0	15 -	15 -	15 -	15 -	15 -

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：04 文化に親しみ学ぶ環境の充実と文化芸術の振興

所管課長等職・氏名 文化振興課長 岡田 久美

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・湖山図書館は、複合施設としての利点を活かしビッググループ滝沢と連携協力し利用促進を図っています。
- ・芸術祭や郷土芸能まつりなどを開催することにより、市民が芸術文化に触れる機会の確保に努めています。
- ・芸術文化団体の会員数は減少傾向であり、新規会員確保など次世代への継承のための支援が必要となっています。
- ・郷土史「滝沢市の歩み」講座や埋蔵文化財センターにおける講座開催を通して、郷土理解や文化財への市民理解を図っています。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・少子高齢化が進む中、交流を深め仲間づくりをしながら、生きがいとなる文化芸術活動が求められています。
- ・市民のライフスタイルや価値観の多様化に応じた、それぞれが求める学習機会や文化芸術活動の場の創出が求められています。
- ・文化芸術の継承による地域づくりと人づくりが求められています。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・芸術祭や郷土芸能まつりなどの市民活動の場の確保
- ・文化財の保護・活用と伝統文化の継承
- ・図書館及び埋蔵文化財センターにおける学びの支援
- ・滝沢市を知るための図書や文化財などの郷土資料の保護と充実

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・文化芸術関係団体における組織の維持と文化活動の支援
- ・文化財保護のための環境整備と伝統文化継承の支援
- ・郷土史「滝沢市の歩み」を活用した講座実施による郷土理解の推進
- ・生涯にわたって自ら学習できる文化施設としての図書館及び埋蔵文化財センターの維持運営と活用促進



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：05 望ましい食習慣を育む学校給食の充実

所管課長等職・氏名 学校給食センター所長 村上 齊

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

調理環境の向上により、安全安心な学校給食を提供するとともに、児童生徒が心身ともに健全に発達するため、学校給食を通じて「食に関する指導」の充実を図り、望ましい食習慣の理解と実践の支援など、食育の推進を目指し、給食食材においては、地場農産物の活用に努めます。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施策関連指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度	進捗率(%)	
1	給食食材に占める地場農産物の使用割合 単位 %	45	46	46	46	46	46	-	
			45.2	0	-	-	-	0.0	
	単位								
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	令和6年度	令和7年度 (見込)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	4年後
1	1168 学校給食事業 食に関する指導実施回数 単位 クラス	目標値 実績	113 138	113 0	113 -	109 -	109 -	109 -	109 -
2	15467 学校給食施設改善事業 調理等に影響を及ぼす故障発生割合 単位 % (献立変更 日数/稼働日)	目標値 実績	2 0.5	2 0	2 -	2 -	2 -	2 -	0 -
	単位	目標値 実績							
	単位	目標値 実績							
	単位	目標値 実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：06 学びにより充実した人生を送ることができるまち

施 策：05 望ましい食習慣を育む学校給食の充実

所管課長等職・氏名 学校給食センター所長 村上 齊

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・安全安心な学校給食を確実に提供していくため、老朽化した給食センターの施設や経年劣化した設備・機器等を計画的に更新し、衛生管理や調理環境の向上を図る必要があります。
- ・学校給食の意義と望ましい食習慣の理解を目的として、給食センターの栄養教諭が市内の小中学校に出向いて「食に関する指導」を実施しており、継続していく必要があります。
- ・市内農家により組織された滝沢市学校給食食材生産供給組合等から、給食食材の供給を受けており、今後も地場農産物の活用推進を図る必要があります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・近年、核家族化や朝食欠食、孤食等により、家庭での子どもたちの「食」のバランスが崩れてきていることから、家庭における食習慣の改善が求められています。
- ・市内農家就業者の後継者不足や度重なる天候不順に伴う地場農産物の供給量減少などにより、食材の安定確保及び食の安定供給が困難になってきています。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・衛生管理や調理環境の向上による安全安心な学校給食の提供
- ・学校給食を生きた教材として活用する「食に関する指導」の充実
- ・滝沢市学校給食食材生産供給組合等と連携した地場農産物の活用
- ・物価変動に対応して学校給食を安定供給できる給食費の設定

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・調理環境の向上により、安定した運営と安全安心で栄養バランスのとれた学校給食の提供
- ・市内小中学校にて実施している「食に関する指導」の継続実施
- ・滝沢市学校給食食材生産供給組合等と情報交換を密にし、地場農産物の活用
- ・物価変動に対応した給食費の検討



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：01 新たな価値を創造できる職員の育成と行政体制の構築

所管課長等職・氏名 総務課長 関村 和史

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまの姿】

「誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域」を実現するため、社会情勢の変化及び多様化する市民の価値観に的確に対応し、地域づくりの推進を担う能力を有する職員が求められます。このことから、滝沢市人材育成基本方針に基づき、「研修制度」「人事管理」「職場環境の整備」の3つのシステムを効果的に活用しながら、職員の人材育成を進めるとともに、滝沢市職員定員管理計画に基づき、人材の確保及び適正な職員数の維持を図ります。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	職員の研修参加者数 単位 人	786	800 855	805 0	810 -	815 -	815 -	- 0.0	
2	滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	36.8	37.8 34.4	38.8 0	39.8 -	40.8 -	40.8 -	- 0.0	
	単位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	20 職員採用試験事務 職員採用試験（第1次試験）受験申込者数 単位 人	目標値 実績	140 110	120 175	120 -	120 -	120 -	120 -	120 -
2	2811 安全衛生管理事業 定期健康診断受診率 単位 %	目標値 実績	96 98.6	100 0	100 -	100 -	100 -	100 -	100 -
3	2823 情報公開制度等関係事務 情報公開・個人情報保護審査会等の開催 単位 回	目標値 実績	2 1	2 0	2 -	2 -	2 -	2 -	2 -
4	3041 職員研修事業 内部企画研修の実施 単位 回	目標値 実績	2 9	2 0	3 -	3 -	3 -	3 -	3 -
5	3798 文書行政事務 例規副主任充足率 単位 %	目標値 実績	72 73	73 0	74 -	75 -	76 -	77 -	78 -

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：01 新たな価値を創造できる職員の育成と行政体制の構築

所管課長等職・氏名 総務課長 関村 和史

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

職員は、常に様々な行政課題に対応することが求められ、その行政課題も時代とともに変化していきます。そのような環境の変化に迅速に対応するため、滝沢市人材育成基本方針に基づき、計画的・効果的な内部・外部研修を実施し、常に職員が学び、新たな知識を得ることのできる機会を設けます。また、滝沢市職員定員管理計画に基づき、有為な人材の確保及び適正な職員数の維持を図ります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

少子高齢化、物価高騰など激変する環境変化（住民ニーズ）の中で、職員は、常に迅速な対応が求められます。また、段階的な定年引上げが実施されるなど、今後もこれまで同様に外部・内部環境の変化を踏まえながら、常に様々な行政課題に対応することができる職員の能力開発・人材育成を進める必要があります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・人材の確保と滝沢市人材育成基本方針に基づく職員の育成
- ・快適な職場環境の形成及び働き方改革の推進
- ・法律等、上位法令に基づく例規整備及び法制執務研修の実施
- ・DX推進を踏まえた効率的な文書管理事務の推進

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・職員採用試験プロセスの見直しによる有為な人材の確保
- ・計画的な職員研修の実施による職員の能力開発・人材育成
- ・適正な人員配置による働きやすい職場環境の整備
- ・職員のエンゲージメントの向上



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：02 行政経営による総合計画の推進

所管課長等職・氏名 企画政策課長 杉村 英久

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまの姿】

第2次滝沢市総合計画の目指す「やさしさに包まれた滝沢」の実現のため、市政経営に係る市長方針に基づく各政策・施策の展開と評価を実施するとともに、前期基本計画における重要な5つの視点である「つながる・こどもまんなか・いきいき・まなぶ・はたらく」に特に関連する重点事業を推進するため、中期財政見通しも勘案しながら各部門の調整・支援を行います。また、日々変化する社会経済情勢を踏まえ、今後の地域づくりの方向性や市民の意識、ニーズを把握することを目的とした新たな指標づくりのための市民との議論の場を創出し、第2次滝沢市総合計画後期基本計画策定に向けて準備を進めます。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	政策達成度(政策達成評価において【達成した】又は【概ね達成した】と評価した割合) 単 位 %	0	50 100	75 0	90 -	100 -	100 -	- 0.0	
2	施策達成度(施策達成評価において【達成した】又は【概ね達成した】と評価した割合) 単 位 %	0	50 100	75 0	90 -	100 -	100 -	- 0.0	
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	3799 行政改革推進事業 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単 位 %	目標値 実績	37.8 34.4	38.8 0	39.8 -	40.8 -	41.8 -	42.8 -	42.8 -
2	3837 総合計画マネジメント事業 市民アンケート調査回収率 単 位 %	目標値 実績	30 32.4	31 0	32 -	33 -	34 -	35 -	35 -
3	20498 トップマネジメント推進事業 市長方針等を職員に伝える機会の創出 単 位 回	目標値 実績	7 6	8 0	9 -	10 -	10 -	10 -	10 -
	単 位	目標値 実績							
	単 位	目標値 実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：02 行政経営による総合計画の推進

所管課長等職・氏名 企画政策課長 杉村 英久

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

総合計画を着実に推進するためには、市民アンケートや統計調査などの主観的・客観的データ及び社会環境の変化などを捉え、各政策・施策の進捗状況を把握・分析することが必要です。特に令和7年に実施した国勢調査の結果や市民との対話から得た意見や要望を踏まえ、総合計画及び市長方針に基づき、各政策・施策の進捗を管理しながら、達成状況に応じた必要な措置を検討する必要があります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

人口減少と少子高齢化の急速な進展は本市にとっても今後様々な影響を及ぼすことが予想されます。国立社会保障・人口問題研究所の本市の人口推計では、令和7年は55,998人とされていましたが、令和7年3月末時点の住民基本台帳では54,086人と推計値を大きく下回っています。財源や人材など限りある資源の中で、今後すべての市民ニーズに対応することは極めて困難な状況であると考えます。第2次滝沢市総合計画に掲げる「やさしさに包まれた滝沢」の実現に向けては、市民の参画を得て、積極的な対話と情報の共有のもとで、市の現状や取組などに理解をいただきながら効率的且つ効果的な行政経営にあたることが重要と考えます。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

本施策の推進にあたっては、トップマネジメントに基づく各政策・施策を確実に展開していくことと、それらを動かす職員の上位方針の理解と実行力が必要です。そのため、中長期的視野に立って、すべての政策・施策の進捗状況を管理するとともに、市民が「やさしさに包まれた滝沢」を事務事業を通じて実感できるよう、職員も積極的に地域に出向き、市の現状や取組を説明し、市民の意見を聴きながら、課題解決に向けて様々な組織や団体等と連携・協働する行政体制の構築を進めます。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

第2次滝沢市総合計画と市長方針に基づき、「やさしさに包まれた滝沢」の実現に向け、「つながる・こどもまんなか・いきいき・まなぶ・はたらく」に関連する取組を市民の声をベースに、実施の根拠や関連データなども分析しながら重点事業として選定し、総合計画前期基本計画の確実な展開に資するよう取り組みます。また、総合計画後期基本計画の策定に向けた準備を進めます。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：03 たきざわの魅力発信による愛着づくり

所管課長等職・氏名 たきざわ魅力発信室長 杉村 英久

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

第2次滝沢市総合計画の目指す「やさしさに包まれた滝沢」の実現に向け、前期基本計画における「つながる・こどもまんなか・いきいき・まなぶ・はたらく」の5つの視点を踏まえながら、市の取組を各種媒体を通じて積極的に発信します。また、幅広い世代の市民とかかわり、対話を通してヒト・モノ・コトをつなぎ、魅力ある情報の発信によって、市への愛着醸成につなげます。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度		
1	滝沢市に愛着がある人の割合 単 位 %	68.9	70.5	72	73.5	75	75	-	
			71.3	0	-	-	-	0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	950 滝沢市ホームページ管理運営事業 普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合	目標値	52	53	54	55	56	56.1	0
	単 位 %	実績	44.3	0	-	-	-	-	-
2	1816 広報発行事業 広報たきざわを読んでいる人の割合	目標値	83.5	84	84.5	85	85.5	85.5	0
	単 位 %	実績	78.6	0	-	-	-	-	-
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：03 たきざわの魅力発信による愛着づくり

所管課長等職・氏名 たきざわ魅力発信室長 杉村 英久

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

現在、市の情報発信については、広報たきざわとホームページを基軸とし、各種SNS等の媒体も活用しておこなっています。社会のデジタル化の進展にともない、情報発信媒体も世代に応じた活用の手法を検討しながら、市民が必要としている情報や市の取組、魅力などを適時、適切に発信していくことが、市政への関心を高め、地域愛着の醸成につながっていくものと考えます。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

インターネットやスマートフォンの普及により、社会環境や人々の日常生活も大きく変化し、情報を得る手段もスマートフォンを介して行われるようになってきています。一方で、インターネット環境にない方やスマートフォンの利用が難しい方もおり、デジタル化、ペーパーレス化の進展に合わせた対応と紙媒体での情報発信のあり方について検討する必要があります。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

前期基本計画では、その展開手法として「魅力ある情報発信」を掲げています。この4年間でたきざわ魅力・情報発信方針に基づき、多様な媒体を通じて市の取組や魅力を発信するとともに、発信者たる職員には「一人一人が広報マン」という意識をもってもらうため、職員研修にも取り組みます。また、ヒト・モノ・コトに焦点をあてた市の魅力を広く内外に発信するとともに、幅広い世代の市民と対話や交流する機会を創出し、市への愛着醸成につなげます。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・たきざわ魅力・情報発信方針に基づく、効果的・効率的な情報発信体制の構築と庁内全体の情報発信力の強化
- ・ホームページの安定的な運用とSNSとの連携強化
- ・広報たきざわの発行と配布方法も含めたあり方の検討
- ・市民との対話と交流のなかで市政への関心と地域愛着につなげる「自分ごと化会議」の開催



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：04 デジタル社会を見据えた情報システムの構築と運用

所管課長等職・氏名 情報システム課長 鈴木 信

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画で目指すまちの姿】

本市の各種情報システムは行政サービスと表裏一体であり、直接・間接的に市民生活へ影響を及ぼしております。そのために適切なシステムの選定、運用管理を進め、「市民生活の堅持」に貢献し、行政サービスへの満足度と信頼性の確保を目指します。具体的には、本市のシステムの安定稼働、性能維持・向上、費用対効果の追求、情報セキュリティ運用の継続的な見直しによる安全確保を進めます。

また、新たなデジタル技術による業務効率化やオンライン申請など、自治体DX推進を通して人的資源を主とする経営資源の最適化を実施し、「市民の行動を後押しできる環境整備」を目指します。具体的には、オンライン申請などの各分野への情報化支援、システム整備による業務効率化や人材育成を推進しつつ、住民情報システム等における標準準拠システムの更新といった、新たなデジタル社会実現に向けた環境変化に対し、柔軟に対応していきます。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度		
1	指標1 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単 位 %	36.8	37.8	38.8	39.8	40.8	40.8	-	
			34.4	0	-	-	-	0.0	
2	指標2 市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合 単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
			47.4	0	-	-	-	0.0	
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	12984 情報システム管理事業 システムの安定稼働率（稼働実績／稼働予定時間） 単 位 %	目標値	100	100	100	100	100	100	100
		実績	100	0	-	-	-	-	-
2	18743 行政DX推進事業 DX導入業務 単 位 新規件数	目標値	3	3	3	3	3	3	0
		実績	3	0	-	-	-	-	-
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：04 デジタル社会を見据えた情報システムの構築と運用

所管課長等職・氏名 情報システム課長 鈴木 信

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

本市の情報システムは、各分野の施策における市民サービスを安全・適切に提供するための基盤として、有効に機能しています。そのために、セキュリティの確保と最適化を両立して進めながら、適切な管理・運用による安定稼働を実施しています。

また、仮想化等の新たな技術を導入しながら、管理業務の省力化やセキュリティ対策、耐障害性の向上など、システム運用の重要な部分の改善も進んでいます。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

国のIT戦略によるIT活用社会の進展やコロナ禍、クラウドサービスの進展等によって、住民のライフスタイルやニーズが大きく変化しており、時代に即した市民サービスの提供が必要です。

特に国の自治体DX推進により、地方公共団体情報システムの標準化やマイナンバーカードを利用した電子申請への取り組み、ペーパーレス化やテレワーク推進など、自治体が進むべき方向がデジタル技術寄りに変化しています。

またサービス維持の観点から、サイバー攻撃対策や情報漏えい対策といったセキュリティ強化、パンデミックや大規模災害時等の非常時対応能力の重要性が高まっています。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和6年度から令和9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・行政情報システム基盤の適正管理と円滑な運用に努めます。
- ・セキュリティ運用の随時見直しと安全確保を継続的に実施します。
- ・地方公共団体情報システムの標準化・共通化移行を実施し、適切な運用に努めます。
- ・電子申請対応事務の最適化・効率化と対象業務拡大に努めます。
- ・業務効率化を前提とした、情報システム最適化の推進と新たなIT技術や外部資源活用の研究を進めます。
- ・DX人材の育成に努めます。

## (2) この施策が令和8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・システムインフラの基盤である仮想環境の更新を実施します。また更新に併せて、ネットワークやセキュリティを見直します。
- ・地方公共団体情報システムの標準化移行後のサポートに取り組みます。
- ・生成AIといった新しい技術の活用により、業務のデジタル化を促進します。
- ・DX推進のため、次世代のシステム全体像を継続的に検討します。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：05 次世代につなげる財政運営

所管課長等職・氏名 財務課長 佐藤 正樹

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまの姿】

将来にわたり安定した行政サービスを継続して提供していくために、財源配分の選択と集中による事務事業の見直しや未来への投資を行い、公共施設の長寿命化等の推進及び財産の売却等により公有財産を有効に活用し、健全な財政運営の保持を目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	指標1 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単 位 %	36.8	37.8	38.8	39.8	40.8	40.8	-	
			34.4	0	-	-	-	0.0	
2	指標2 市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合 単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
			47.4	0	-	-	-	0.0	
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	5 公用車更新事業 公用車更新(購入)台数 単 位 台	目標値	1	2	2	2	2	3	0
		実績	1	0	-	-	-	-	-
2	11450 庁舎等改修事業 設計又は工事施工 単 位 式	目標値	1	1	1	1	1	1	0
		実績	1	0	-	-	-	-	-
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：05 次世代につなげる財政運営

所管課長等職・氏名 財務課長 佐藤 正樹

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・市の財政状況は、物価高騰等により歳出が拡大した影響で財政調整基金の令和6年度末残高が減少し、中期財政見通しにおいてもその傾向が続くと推計していることから、財政運営の健全化に向けた取組が必要です。
- ・公共施設の老朽化が進んでいるため、施設の長寿命化のための改修をはじめとして公有財産の有効活用を計画的に実施する必要があります。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

折からの物価高騰に加え、人件費の増や金利上昇に伴う公債費の増等、各種行政経費の更なる増加が見込まれます。また、少子高齢化による生産年齢人口の減少により、市税等の歳入の減少や社会保障経費の増加が見込まれ、弾力的な財政運営が困難となることが懸念されます。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和6年度から令和9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

財源を見極めながら一定程度の基金高を保有しつつ、財源配分の選択と集中により事務事業を見直し、将来の経費削減や歳入増加につながる事業の実施、公共施設の改修・長寿命化を実施し公有財産の有効活用などに取り組めます。

## (2) この施策が令和8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・公共施設等総合管理計画の更新
- ・処分可能資産の売却
- ・事務事業ローリングによる事業費の精査



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：06 適正で効率的な課税事務の推進

所管課長等職・氏名 税務課長 小林純子

1. 施策が目指すものを明らかにする

(1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

市政経営を支える市税の確保のため、事務の電子化による効率的な課税事務に取り組むとともに、専門性の高い人材の育成と知識の継承により公正で適正な課税を推進し、市民の信頼を確保し行政基盤の安定化を目指します。

(2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合 単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
	単 位		47.4	0	-	-	-	0.0	
	単 位								
	単 位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事 務 事 業 目 標 指 標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	7405 住民税賦課事務 地方税電子申告システムによる法人申告書受付割合 単 位 %	目 標 値	74	74	75	75	75	75	75
		実 績	71	0	-	-	-	-	-
2	7407 固定資産税賦課事務 現況調査対象地区 単 位 地区数	目 標 値	1	1	1	1	1	1	1
		実 績	1	0	-	-	-	-	-
	単 位	目 標 値							
		実 績							
	単 位	目 標 値							
		実 績							
	単 位	目 標 値							
		実 績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：06 適正で効率的な課税事務の推進

所管課長等職・氏名 税務課長 小林純子

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- 電子化の推進については、令和7年度に基幹業務システムの標準化及び地方税ポータルシステムを軸としたデータ連携や子申告を進めました。今後も納税者の利便性や業務の効率性をより高める手法を検討していく必要があります。
- 適正課税については、外部研修（OFF-JT）や業務を通じた内部研修（OJT）等により、法令等を理解し専門知識を習得するとともに、知識を継承していく体制が求められます。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- 人口減少等により生産年齢人口や納税者数が減少すると、税収の確保に影響します。
- 物価、為替、株価の変動等の経済動向や、景気や政策による雇用環境の変化が、個人の所得や企業の収益、税収の確保や適正課税に影響するため、動向を適時注視していく必要があります。
- 生活様式の変化や利便性の享受と業務効率化を目的とした行政のデジタル化の加速により、地方税の業務においてもデジタル化への対応が求められています。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和6年度から令和9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- 公正かつ適正な課税の推進
- 電子化の推進システム標準化への計画的な取り組み
- 内部研修の実施と外部研修の活用による専門性の高い人材の育成

## (2) この施策が令和8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- 基幹業務システムの標準化を機にさらなる電子化の推進に取り組みます。
- 職員の資質向上と育成のため、業務を通じての学習、各種研修への参加など計画的な育成に努めます。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：07 市政経営のための確実な税財源の確保

所管課長等職・氏名 収納課長 一倉 崇晃

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

- ・口座振替、コンビニ収納及び地方税ポータルシステム（eLTAX）共通納税などの納税環境を安定的に運用し、今後も多様化する納税手段への対応等を図ることで、自主財源である市税の安定確保を目指します。
- ・納付が困難な納税者に対し、適正かつ速やかな納税緩和措置や滞納処分を行うことにより税の公平性を担保し、確実な税財源の確保を目指します。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度		
1	指標1 一般税の収納率 単 位 %	97.8	98	98	98	98	98	-	
			98.2	0	-	-	-	0.0	
2	指標2 目的税の収納率 単 位 %	86.1	87	87	87	87	87	-	
			86.9	0	-	-	-	0.0	
3	指標3 市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合 単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
			47.4	0	-	-	-	0.0	

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	112 徴収管理事務 一般税の徴収率 単 位 %	目標値	98	98	98	98	98	98	0
		実績	98.2	0	-	-	-	-	-
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							
	単 位	目標値							
		実績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：07 市政経営のための確実な税財源の確保

所管課長等職・氏名 収納課長 一倉 崇晃

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・コンビニ収納、ゆうちょ銀行対応納付書及び地方税ポータルシステム（e L T A X）共通納税の運用により、納税環境の利便性の向上に努めています。
- ・滞納処分が困難な事案の増加のほか円安や資源高による物価上昇等、経済環境の悪化が見込まれる中、納税緩和措置や滞納処分による税財源の確保に努めています。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・電子決済対応へのニーズの増加など生活様式の多様化に対応した納めやすい納税環境の整備が求められています。
- ・人口減少等による生産年齢人口や納税者数の減少が、税財源の確保に影響します。
- ・円安や資源高による物価上昇等、経済環境の悪化による収納率の低下が懸念されます。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・滞納処分による税の公平性の担保
- ・賦課徴収に関するシステムの適切な運用による信頼性の維持
- ・市税を取り巻く情勢の変化に応じた納めやすい納税環境の整備
- ・適正かつ速やかな納税緩和措置

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・安定した税財源の確保のため、引き続き納税しやすい環境の整備に努めます。
- ・確実な税財源の確保に向け、徴収体制の強化を図ります。



## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：08 市民に信頼される会計事務の実現

所管課長等職・氏名 会計課長 小笠原 直樹

### 1. 施策が目指すものを明らかにする

#### (1) 施策が4年間で目指す姿

【施策が前期基本計画期間で目指すまちの姿】

市民の皆様からお預かりしている公金の適切な管理と運用は、皆様からの信頼に直結するものです。その信頼に応えるため、法令等に基づく適正な会計事務を行うとともに、全職員で会計事務の知識を高め、公金管理に対する認識を共有することで不適切な会計処理を防止し、適正で迅速な予算執行をめざします。併せて、公金の安全で効率的な運用と円滑な資金調達により、安定した財源の管理に努めます。

#### (2) 施策に関連する指標の状況

No	施 策 関 連 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 9年度	進捗率(%)	
1	市役所の仕事は信頼できると感じている人の割合 単 位 %	46.6	47.6	48.6	49.6	50.6	50.6	-	
	単 位		47.4	0	-	-	-	0.0	
	単 位								
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事 務 事 業 名 事務事業目標指標	推 移	令和 6年度	令和 7年度 (見込)	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	4 年 後
1	7445 会計管理事務 審査時の返却伝票削減率（審査件数に対する返却件数の割合） 単 位 %	目 標 値	7.25	7.25	7	7	7	7	7
		実 績	7.13	0	-	-	-	-	-
	単 位	目 標 値							
		実 績							
	単 位	目 標 値							
		実 績							
	単 位	目 標 値							
		実 績							
	単 位	目 標 値							
		実 績							

## 前期基本計画 令和 8年度 施策方針書

政 策：07 新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

施 策：08 市民に信頼される会計事務の実現

所管課長等職・氏名 会計課長 小笠原 直樹

## 2. 施策の実現に向けた現状を認識する

## (1) 指標を踏まえた、施策の進捗状況分析

- ・自治体DXへの取り組みなどにより、これまでの事務処理の変更などが見込まれ、研修会等を通じて会計事務の知識の底上げと蓄積が更に必要となっています。
- ・人口減少や物価高騰といった社会的課題や自治体DXへの取り組みから、更なる財政需要が見込まれます。今後は、公金の安全で効率的な資金運用が求められることから、公金管理に対する認識を全職員で共有し、収支の均衡を的確に捉えることが重要です。

## (2) 施策に影響する社会環境の変化

- ・物価高騰に伴い、各種事業への影響が懸念されます。
- ・長く続いたマイナス金利が解除され、社会経済情勢は新たな局面を迎えています。この変化を機微に捉えながら、先を見据えた対応が求められています。

## 3. 施策の実現に向けた取組を決定する

## (1) 施策が、令和 6年度から令和 9年度までの4年間で取り組む事（前期基本計画期間内の取組）

- ・収支の均衡を的確に捉え、効果的な公金の管理及び運用に努めます。
- ・財務規則等に基づく適正な審査と迅速な支払いに努めます。
- ・公金管理に対する認識と会計事務の知識を全庁で高めるため、研修会や日常的な事務指導を実施します。

## (2) この施策が令和 8年度に特に力を入れて取り組む事（重点課題）

- ・適正な会計事務を維持するため、個々のケースへの日常的な事務指導を行うと同時に、広く会計事務に関する知識の習得を図るための研修会を実施します。
- ・民間企業で広まりつつある電子請求やパーチェシングカードなど、商取引における新たな手法について調査研究します。

